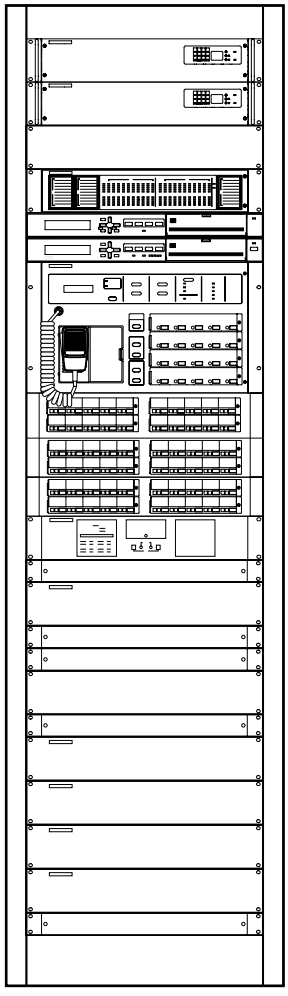
Victor

"HIS MASTER'S VOICE"

業務用放送設備

型名 **EM-D300シリーズ**　取扱説明書



（システム例）

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST0638-001A

このたびは
業務用放送設備
EM-D300 シリーズ
をお買い上げいただき
ありがとうございます。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

ご注意　：操作上の注意が書かれています。

メモ　：機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞　：参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

特長

緊急優先放送機能

地震・事故などの緊急事態に他の業務放送より優先的に放送可能な緊急優先放送をすることができます。
緊急優先一斉スイッチ、出力スイッチ、または外部からの起動により優先的に放送をすることができます。

運用形態にあわせた優先順位設定が可能

本体放送、メッセージ放送などの放送機器 (放送グループ) を運用形態にあわせて、優先順位を設定できます。
(2 位～ 6 位に設定できます。緊急優先放送が 1 位固定となります。)

ブロック放送機能

複数のスピーカー回線を業務ブロック放送、BGM ブロック放送、報時チャイム、電話ページングなど、機能別／用途別に任意のグループにまとめて放送できます。

多元 (マトリックス) 放送機能

デジタルマトリックスユニット (PA-MX92)、またはマトリックスコントロールユニット（PA-MX52）を使用することにより、最大 20 入力／ 20 出力の多元放送に対応します。
BGM 放送、呼び出し放送、定時放送などを同時に、別々の場所に放送できます。

停電放送対応

非常電源ユニットと蓄電池を使用することにより、停電放送に対応することができます。

デジタル音源 (PA-D) シリーズとの連動放送機能

PA-DR600/DA600 などデジタル音源 (PA-D) シリーズと連動して、出力スイッチや外部からの起動により、メッセージや BGM を放送できます。

リモコン放送

マルチ業務リモコン (PA-C620) を最大 8 台、業務リモコン (PA-C50 シリーズ) を最大 4 台接続でき、本体と離れた場所から放送できます。

もくじ

はじめに

特長 2
もくじ 3
安全上のご注意 3
正しくお使いいただくためのご注意 4
機器の点検について 5
　予備電源の点検について 5
　自動診断機能について 6

各部の名称とはたらき

外観図例 7
業務操作器（EM-D36） 8
　液晶表示部 10
　ポケットカバー内 11
その他の機器 12
　マトリックスコントロールユニット（PA-MX52） . 12
　デジタルマトリックスユニット（PA-MX92） 13
　モニターユニット（EM-S102） 13
　ミキサーユニット（EM-M102） 14
　デジタル音源（PA-D）シリーズ 15
　非常電源ユニット（EM-N112） 16

緊急優先放送をする

緊急優先放送とは 17
緊急優先一斉放送のしかた 18
緊急優先ブロック放送のしかた 19
緊急優先起動放送のしかた 20

業務放送をする

ブロックスイッチによる業務放送 21
業務ブロック放送のしかた 22
　業務操作器（EM-D36）からのマイク放送 22
　ミキサーユニット（EM-M102）からの放送 23
メッセージブロック放送のしかた 24
BGM ブロック放送のしかた 25
業務放送の優先関係について 26
多元放送について 27
　多元放送の操作について 27
停電時の放送について 28
　緊急優先一斉放送 28
　停電起動放送 28

その他

音量調節のしかた 29
時計合わせのしかた 30
ネームカードについて 31
　ネームカードの記入 31
　ネームカードの取り付け 31
緊急時、もし機器が動かなくなったら 32
保証とアフターサービスについて 32
仕様 33
簡易説明書 42

安全上のご注意

警　告

組み込みや接続は販売店に依頼する

機器の組み込みや背面端子盤への接続を誤ると、感電や火災事故の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

各機の上面・側面・底面にある通風孔は、内部の熱を逃がす重要な穴です。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり火災や故障の原因となります。

注　意

停電放送に対応したシステムの場合、電源分電盤のスイッチは保守点検時や緊急時以外には切らない

停電時にも緊急放送ができるよう予備電源用蓄電池を内蔵し常に充電しています。

機器を重ねて使用しない

お互いの熱やノイズの影響で誤作動したり故障したり、火災の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので火災の原因となります。本システムを横倒し、逆さま、あお向けの状態で使用しないでください。

本システムの上に物を置かない

テレビモニターのような重いものや、本システム各機からはみでるような大きなものを置くと、バランスが崩れて倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

本システムの上に乗らない、ぶら下がらない

倒れたり、壊れたりしてケガの原因となることがあります。特に小さいお子様には注意してください。

本システムの上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない

こぼれたり、機器の内部に入ると、火災、感電の原因となります。

内部に物を入れない

通風孔などから、金属類や燃えやすいものが入ると火災や感電の原因となります。

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

■ 次のような場所に置かない

誤動作や故障の原因になります。

・許容動作温度（0 ℃～ 40 ℃）範囲外の暑いところや寒いところ
・許容動作湿度（30%～ 80%）範囲外の湿気の多いところ
・変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
・トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
・ほこりや砂の多いところ
・振動の激しいところ
・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
・放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ
・ファンがなく、背面が塞がれたラックなど通気性の悪い場所

■ 本システムの周囲に物を置かない

操作の妨げにならないように左右 0.5m 以内、操作面前方 2m 以内には物を置かないでください。

取り扱いについて

■ 各機器の組み込みや接続には、技術を必要とする場合があります。

機器の組み込みや接続を誤ると、感電や火災の原因となることがあります。必ずお買い上げ販売店にご依頼ください。

お手入れについて

■ 本システム各機はやわらかい布でふいてください。

機器の汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

■ シンナーやベンジンなど揮発性のものでふかない

機器の表面が溶けたり、くもったりします。必ず水でうすめた中性洗剤でふいてください。

■ ゴムやビニール製品などを機器に長時間接触させたままにしない

プラスチックの中に含まれる “ かそ剤 ” の働きにより、変質したり、塗装がはげるなどの原因になります。

点検・調整について

■ 本システムの内部にさわらない。

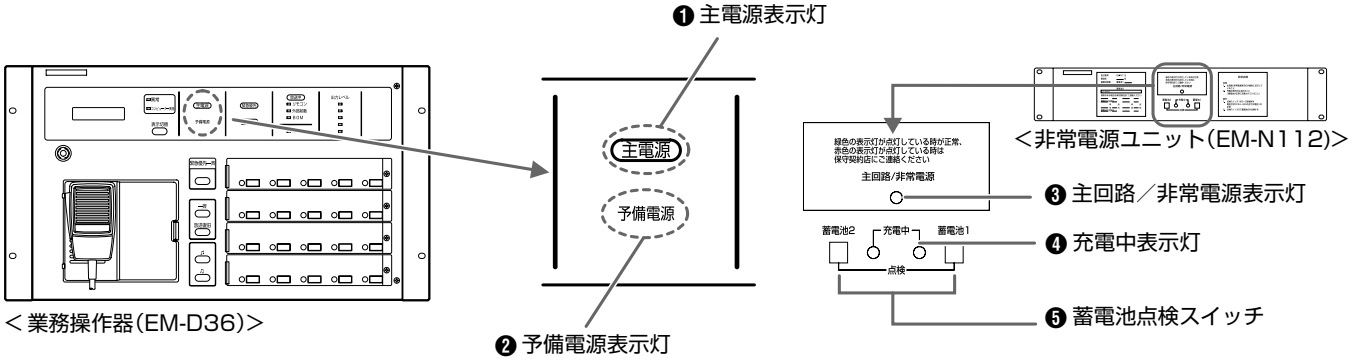
本システムの内部に触れることは、故障や感電の原因となります。点検や調整は設置業者にお任せください。

■ 落雷による不具合が発生した場合は、すみやかにお買い上げ販売店、保守点検契約業者またはビクターサービス窓口へご連絡ください。

機器の点検について

予備電源の点検について

予備電源を接続し、停電放送に対応しているシステムの場合、予備電源の点検は次のように行なってください。



項　目		確認内容	正常	異常
1	主電源の点検	業務操作器の ❶ 主電源表示灯を確認する	緑色に点灯	消灯
2	予備電源の点検	業務操作器の ❷ 予備電源表示灯を確認する	緑色に点灯	赤色に点灯
3	主回路の点検	非常電源ユニットの ❸ 主回路／非常電源表示灯を確認する	緑色に点灯	赤色に点灯
4	充電回路の点検	非常電源ユニットの ❹ 充電中表示灯を確認する	緑色に点灯	消灯
5	予備電源用 蓄電池の点検	非常電源ユニットの ❺ 蓄電池点検スイッチを３～５秒間押し続け、主回路／非常電源表示灯を確認する	緑色に点灯	赤色に点灯

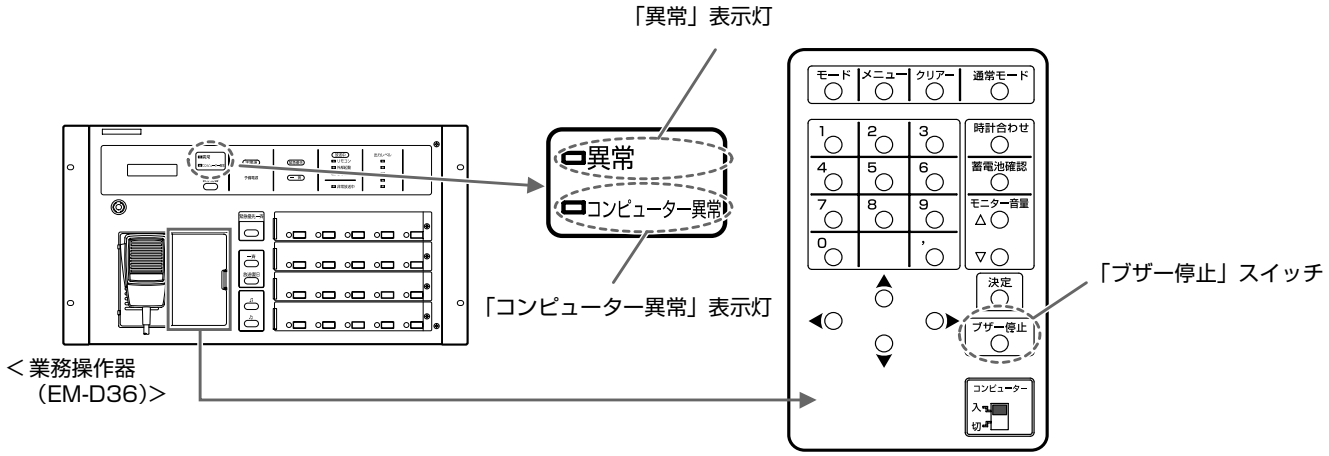
メモ：

- 非常電源ユニットが接続されていないシステムでは ❷ 予備電源表示灯は消灯しています。
- 異常のときはすみやかにお買い上げ販売店、保守点検契約業者、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。
- 手動操作による蓄電池の点検では、自動診断機能とは違い、ブザー音や画面への表示はありません。

機器の点検について（つづき）

自動診断機能について

業務操作器（EM-D36）はコンピューターによる自動診断機能を搭載し、機器の状態を監視しています。



自動診断機能の内容

項　目	内　容	異常発生時の 表示場所とその内容
スピーカー回線の短絡の監視	放送中、スピーカー回線の短絡を監視します。 ※音源によっては検出できない場合があります。	ブザー音（ピーッ、ピーッ）、「異常」表示灯が点灯し、液晶画面に異常内容を表示
通信回線の監視	常時、主制御ユニット等の接続機器の通信状況を監視します。	
予備電源用蓄電池の点検	24 時間ごとに予備電源用蓄電池を放電させ電圧を点検します。	
パワーアンプの動作の監視	常時、パワーアンプの動作を監視します。	
サービス用メモリーの監視	常時、サービスメモリーの監視をします。	
コンピューターの動作の監視	常時、本機内蔵のコンピューターの動作を監視します。	「コンピューター異常」表示が点灯

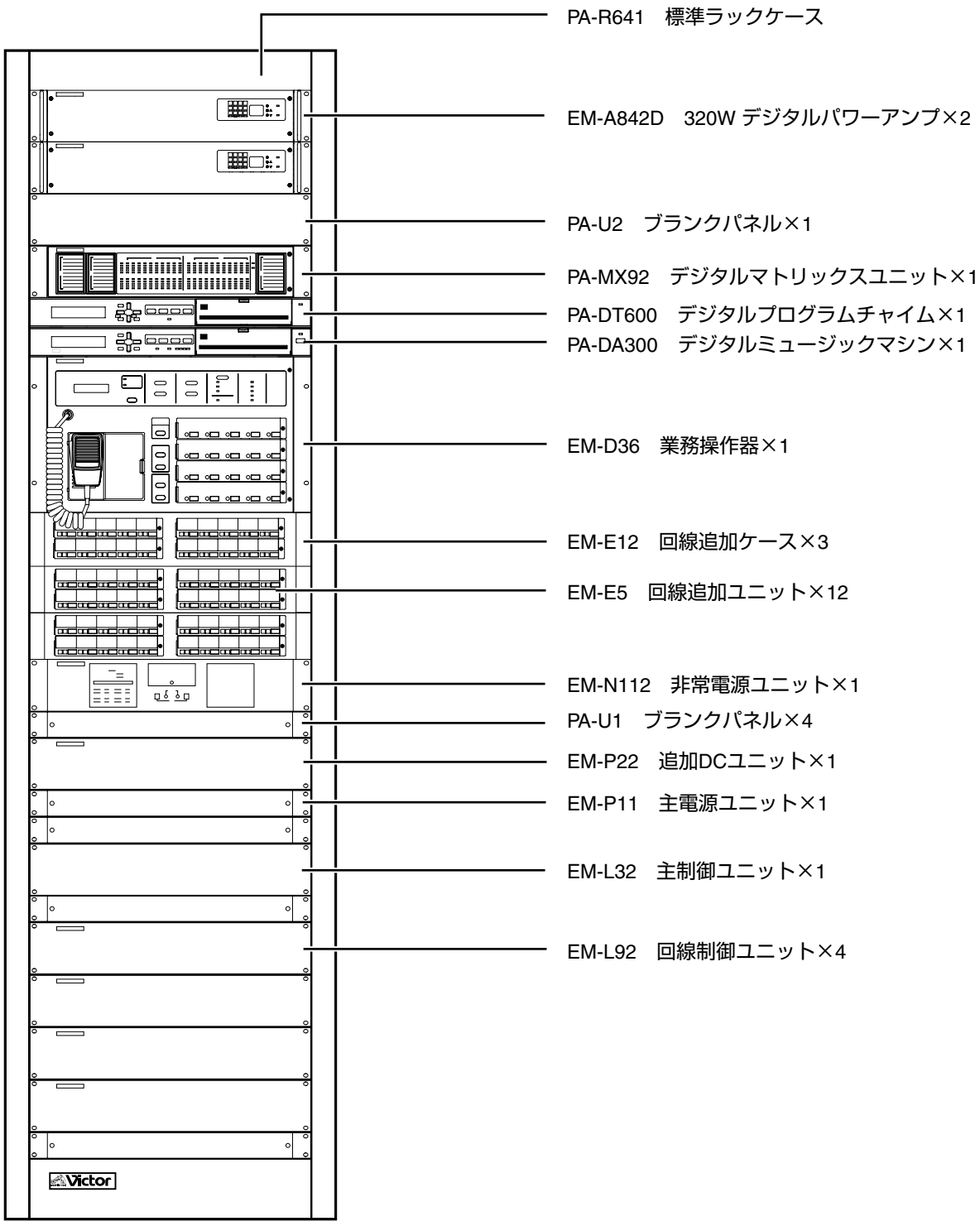
メモ：

- 警告音を停止するにはブザー停止スイッチを押してください。
- 異常が発生した場合はすみやかにお買い上げ販売店、保守点検契約業者、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。

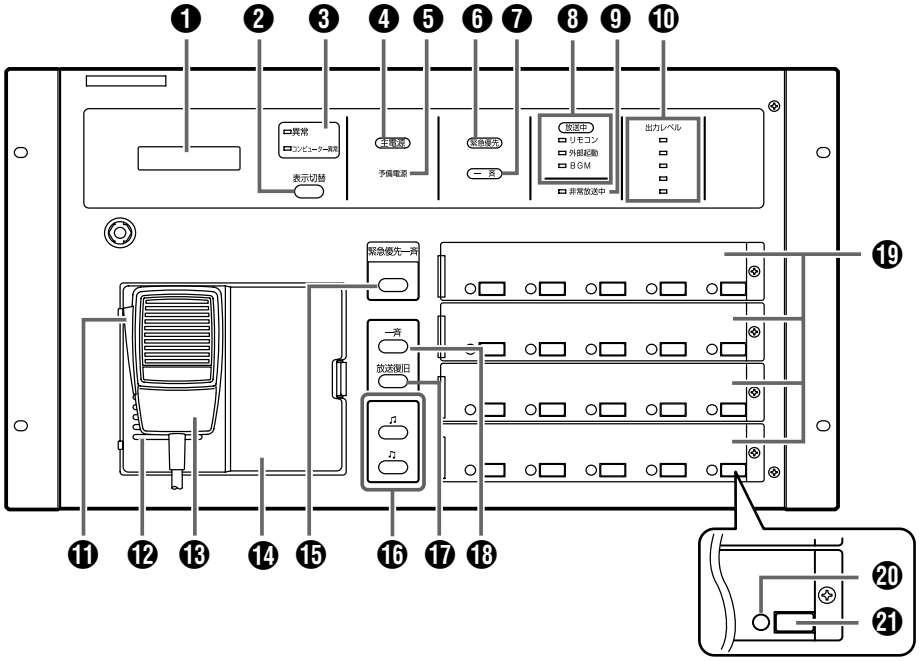
外観図例

EM-D300 シリーズ

640W　100 回線のとき



業務操作器（EM-D36）



用語の説明

「緊急優先一斉放送」	：緊急優先一斉スイッチによる放送
「緊急優先ブロック放送」	：緊急優先ブロックスイッチによる放送
「緊急優先起動放送」	：外部起動による緊急優先放送
「一斉放送」	：一斉スイッチによる放送
「業務ブロック放送」	：業務ブロックスイッチによる放送
「メッセージブロック放送」	：メッセージブロックスイッチによる放送
「メッセージ起動放送」	：外部起動によるメッセージ放送
「BGM ブロック放送」	：BGM ブロックスイッチによる放送
「BGM 起動放送」	：外部起動による BGM 放送

❶ 液晶表示部

- 業務放送中は放送名を表示します。
- 異常発生時は異常内容を表示します。

(☞ 10 ページ）「液晶表示部」

❷ 表示切替スイッチ

異常発生内容を表示させるときや液晶表示部の表示内容を切り換えるときに押します。

❸ 異常表示灯

- **［異常］表示灯**
  異常が発生するとブザー音（ピーッ、ピーッ）が鳴り、「異常」表示灯が点灯します。
- **［コンピューター異常］表示灯**
  コンピューター動作に異常があるときに点灯します。

❹ 主電源表示灯

常用電源（ＡＣ100Ｖ）で使用中に点灯します。（停電時消灯）

❺ 予備電源表示灯

予備電源の状態を表示します。停電放送に対応されている場合は、表示灯が点灯します。（対応されていない場合は消灯します。）正常な状態では緑ランプが点灯し、異常な状態では赤ランプが点灯します。

❻ 緊急優先表示灯

緊急優先放送を放送中に点灯します。

❼ 一斉表示灯

緊急優先一斉スイッチまたは一斉スイッチによる放送時に点灯します。

❽ 放送中表示灯

- 「放送中」表示灯
  放送状態にあるときに点灯します。
- 「リモコン」放送中表示灯
  業務リモコン、マルチ業務リモコン、拡張ユニットのいずれかで放送中に点灯します。
- 「外部起動」放送中表示灯
  報時チャイム、アナウンスユニット、電話ページング、メッセージ起動放送のいずれかで放送中に点灯します。
- 「ＢＧＭ」放送中表示灯
  ＢＧＭ ブロック放送、ＢＧＭ 起動放送のいずれかで放送中に点灯します。

❾ 非常放送中表示灯

非常用放送設備で非常放送中に点灯します。
このとき、本システムからは放送できません。

❿ 放送出力レベル計

放送される音量を表示します。緑色 3 点が点灯する音量が適切なレベルになります。

⓫ マイクスイッチ

⓭ アナウンスマイクを使用して放送するときに押します。

⓬ モニター用スピーカー

放送内容を確認 (モニター) します。マイクスイッチを押すと、モニター音は停止しハウリングを防止します。

⓭ アナウンスマイク

⓫ マイクスイッチを押しながら放送します。

⓮ ポケットカバー

音量を調節する場合にカバー内のスイッチを使用します。
(☞ 11 ページ)「ポケットカバー内」

⓯ 緊急優先一斉放送スイッチ

緊急優先一斉放送をするときに押します。

⓰ チャイムスイッチ

- [アップチャイムスイッチ]
  このスイッチを押すと、設定により「4 音上昇 (速い)」、「4 音上昇 (遅い)」、「2 音」、「1 音」のいずれかのチャイムが放送されます。
- [ダウンチャイムスイッチ]
  このスイッチを押すと、設定により「4 音下降 (速い)」、「4 音下降 (遅い)」、「2 音」、「1 音」のいずれかのチャイムが放送されます。

メモ：

- チャイム音の設定に関してはお買い上げ販売店、保守点検契約業者にご相談ください。

⓱ 放送復旧スイッチ

緊急優先一斉放送、緊急優先ブロック放送、業務ブロック放送を終了するときに押します。

⓲ 一斉放送スイッチ

全回線一斉に放送するときに押します。

⓳ ネームカード

放送先名称を記入します。

緊急優先ブロックスイッチ用 ・・・橙色
業務ブロックスイッチ用 ・・・・・緑色
メッセージブロックスイッチ用 ・・青色
ＢＧＭ ブロックスイッチ用・・・・黄色

⓴ 作動表示灯

- ㉑ 出力スイッチを押すと「緑色」に点灯し、その回線に放送することを表示します。
- ⓲ 一斉放送スイッチを押した場合は、業務ブロックスイッチに設定された出力スイッチの作動表示灯がすべて点灯します。
- 放送時にスピーカー回線が短絡すると、該当のスピーカー回線を制御する出力スイッチの作動表示灯がすべて点滅します。
  このとき、❸ 異常表示灯が点灯し、スピーカー回線を自動的に切り離します。スピーカー回線を切り離したスピーカーからは放送が出力されませんのでご注意ください。
- ⓯ 緊急優先一斉放送スイッチを押した場合は、作動表示灯は点灯しません。

㉑ 出力スイッチ

放送先を選択するときに押します。このスイッチは設定によって、次のように機能が異なります。設定に関しては、お買い上げ販売店、保守点検契約業者にご相談ください。

a. 緊急優先ブロックスイッチ [橙ネームカード]
緊急優先ブロック放送を行うときに押します。

b. 業務ブロックスイッチ [緑ネームカード]
業務ブロック放送を行うときに押します。

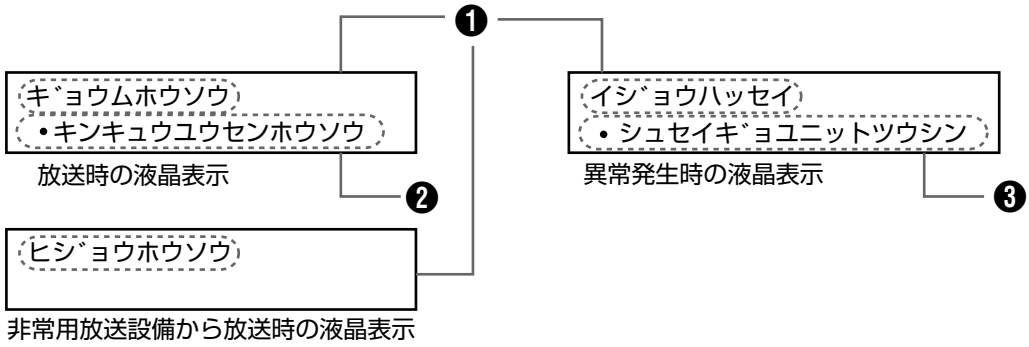
c. メッセージブロックスイッチ [青ネームカード]
メッセージブロック放送を行うときに押します。復旧するときはもう一度押します。

d. ＢＧＭ ブロックスイッチ [黄ネームカード]
ＢＧＭ ブロック放送を行うときに押します。復旧するときはもう一度押します。

業務操作器（EM-D36）(つづき)

液晶表示部

放送時には、本システムで行われている動作を、異常発生時には異常内容を表示します。



❶ 表示名

表示内容には以下の 3 種類があります。

「ギョウムホウソウ」：業務放送中に表示します。

「イジョウハッセイ」：異常発生時に表示します

「ヒジョウホウソウ」：非常放送中に表示します。

非常放送中は本システムから放送をすることはできません。

❷ 起動放送名表示

どこから放送指示がきているかを表示します。

- 「ホンタイ」
  業務ブロック放送中に表示します。
- 「ギョウムリモコン」
  業務リモコンの放送中に表示します。
- 「ホウジチャイム」
  報時チャイムの放送中に表示します。
- 「アナウンスユニット」
  アナウンスユニットの放送中に表示します。
- 「デンワページング」
  電話ページングの放送中に表示します。
- 「カクチョウユニット」
  拡張ユニットの放送中に表示します。
- 「マルチギョウム RM1 ～ 8」
  マルチ業務リモコンの放送中に表示します。
- 「ＢＧＭ」
  BGM ブロック放送中、または BGM 起動放送中に表示します。
- 「メッセージ」
  メッセージブロック放送中、またはメッセージ起動放送中に表示します。
- 「キンキュウユウセンホウソウ」
  緊急優先一斉放送中、緊急優先ブロック放送中、緊急優先起動放送中のいずれかのときに表示します。

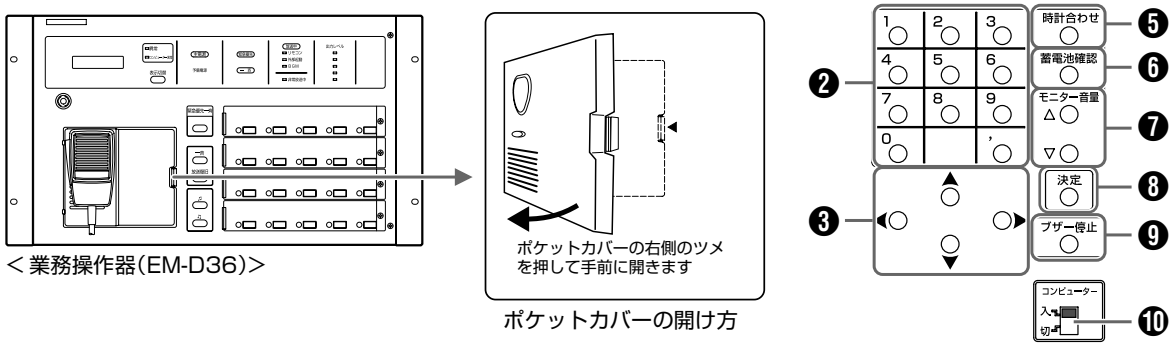
❸ 異常発生内容表示

- 「チクデンチデンアツ」
  予備電源用蓄電池に異常があるときに表示します。
- 「マルチギョウム RM ＊ツウシン」
  （＊はアドレス No. です。）
  マルチ業務リモコン通信に異常があるときに表示します。
- 「D マトリクス＊ツウシン」（＊はアドレス No. です。）
  デジタルマトリックス通信に異常があるときに表示します。
- 「パワーアンプ」
  パワーアンプに異常があるときに表示します。
- 「デジタルアンプ xyzz」
  アドレス No. が zz に設定されているデジタルパワーアンプに異常があるときに表示します。
  x はアンプの系統番号、y は異常内容を表します。
  詳細はデジタルパワーアンプの取扱説明書をご覧ください。
- 「ホンタイメモリー」
  サービスメモリーに異常があるときに表示します。
- 「カイセンタンラク　No. ＊＊＊」
  スピーカー回線 No. ＊＊＊の短絡を検出したときに表示します。同時に短絡したスピーカー回線を制御する出力スイッチの作動表示灯がすべて点滅します。
- 「ホンタイマイク」
  本体にマイクが接続されていないとき、またはマイクが断線しているときに表示します。
- 「リモコンデンゲン」
  業務リモコン、マルチ業務リモコンの電源保護回路が動作しているときに表示します。
- 「シュセイギョユニットツウシン」
  主制御ユニット (EM-L32) との通信に異常があるときに表示します。

メモ：

- 異常が発生した場合はすみやかにお買い上げ販売店、保守点検契約業者、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。

ポケットカバー内



＜業務操作器(EM-D36)＞

ポケットカバーの開け方

❶ 設定工事用スイッチ

プログラムの書き込み時のみに使用するスイッチです。操作しないでください。

❷ テンキー

数値を入力するのに使用します。

❸ 選択・変更スイッチ

設定項目の選択、カーソルの移動に使用します。

❹ 通常モードスイッチ

各種設定を終えるときに押します。

❺ 時計合わせスイッチ

時刻の設定を行うときに押します。

❻ 蓄電池確認スイッチ

- 停電放送に対応したシステムの場合に、自動診断で行なった蓄電池点検の結果を表示するときに押します。
- 停電放送に対応していないシステムの場合は、蓄電池点検の結果を表示しません。
- 停電放送に対応したシステムの場合でも、システムの電源を切ると、電源を切る前に行なった蓄電池点検の結果は表示されなくなります。

❼ モニター音量スイッチ

モニター音量を調節するときに押します。

❽ 決定スイッチ

設定する内容を確定するときに押します。

❾ ブザー停止スイッチ

異常発生時のブザー音を停止させるときに押します。

❿ コンピュータースイッチ

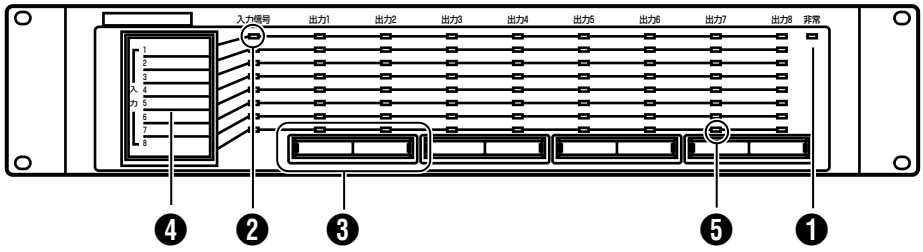
通常は [入] にしてください。

(☞ 32 ページ)「緊急時、もし機器が動かなくなったら」

その他の機器

マトリックスコントロールユニット（PA-MX52）

マトリックスコントロールユニットは、8 系統の入力と 8 系統の出力を自由に組み合わせることができるユニットです。BGM 機器、業務リモコン、デジタル音源（PA-D）シリーズなどと組み合わせることで多元放送 (☞ 27 ページ) ができます。
（最大 4 台使用で 16 入力 16 出力が可能です。）



❶ 非常放送表示灯（赤色）[非常放送]

本システムでは使用しません。

❷ 入力信号表示灯（橙色）

入力 1 ～入力 8 に信号が入力されると、それぞれの表示灯が点灯します。

❸ 出力ライン記入シート [出力 1 ～出力 8]

各出力ラインの系統名を記入してください。

❹ 入力ライン記入シート [入力 1 ～入力 8]

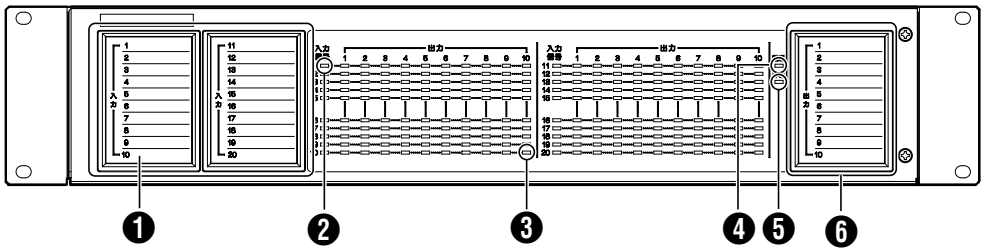
各入力ラインのソース（音源の名称）を記入してください。

❺ クロスポイント表示灯（緑色）

入出力ラインのクロスポイント（64 点）を表示します。クロスポイント ON（入出力ライン接続）時に点灯します。

デジタルマトリックスユニット（PA-MX92）

デジタルマトリックスユニットは、20 の入力と 10 の出力を自由に組み合わせることができるユニットです。BGM 機器、業務リモコン、デジタル音源（PA-D）シリーズなどと組み合わせることで多元放送 (☞ 27 ページ) ができます。
（最大 2 台使用で 20 入力 20 出力が可能です。）



❶ 入力ライン記入シート [入力 1 ～入力 20]

各入力ラインのソース（音源）を記入してください。

❷ 入力信号表示灯（橙色）

入力 1 ～入力 20 に信号を入力したとき、それぞれの表示灯が点灯します。

❸ クロスポイント表示灯（緑色）

入出力ラインのクロスポイント（200 点）を表示します。クロスポイント ON（入出力ライン接続）時に点灯し、ミキシング時に点滅します。フェードイン・フェードアウト動作中は早く点滅します。

❹ 電源表示灯（緑色）

正常動作中に点灯します。
初期化中や通信異常の発生時は点滅します。

❺ 非常放送表示灯（赤色）[非常放送]

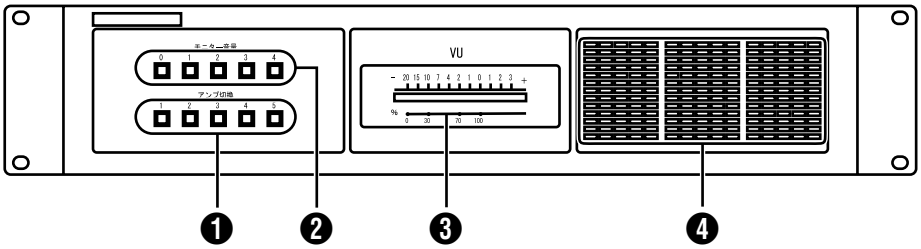
本システムでは使用しません。

❻ 出力ライン記入シート [出力 1 ～出力 10、出力 11 ～出力 20]]

各出力ラインの系統名を記入してください。

モニターユニット（EM-S102）

任意の放送エリアに流れる音声を確認することができます。



❶ アンプ切換スイッチ

スイッチ 1 ～スイッチ 5 のうち必要なスイッチを押してください。1 ～ 5 の系統のパワーアンプを切り換えて放送中の音声を確認（モニター）できます。
（ボタン ⊓ で「切」、ボタン ⊔ で「入」）

メモ：

- 接続時の設定によってはアンプ切替スイッチ 1 ～ 5 の中で聞こえない設定場所がありますので、この位置に設定することは避けてください。
- 2 つ以上のスイッチを押したときは、数字の小さいほうのスイッチが優先されます。

❷ モニター音量スイッチ

モニタースピーカー音量を 5 段階に切り換えられます。
（数字が大きくなると音量も大きくなります。）

メモ：

- 2 つ以上スイッチを押したときは数字の大きいほうの音量になります。「切」のとき音は出ません。

❸ 放送出力レベル計

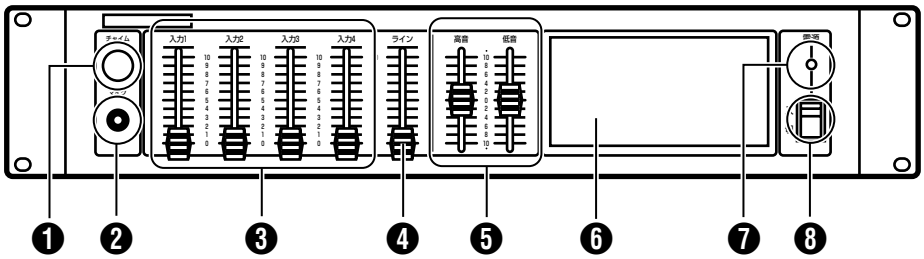
放送される音量を表示します。赤の表示灯が点灯しないように音量を設定してください。

❹ モニタースピーカー

放送中の音声を出力します。

その他の機器（つづき）

ミキサーユニット（EM-M102）



❶ チャイムスイッチ（4 音式電子チャイム DM-2 取付時）

このスイッチを押すとアップチャイム（ド→ミ→ソ→ド）を放送できます。（業務操作器（EM-D36）にもチャイムが内蔵されています）。

❷ マイク入力ジャック

アナウンスマイクを接続すると、業務放送専用のマイクとなります。音量は内部で調整されています。

❸ 入力 1 ～入力 4 音量調節つまみ

各入力の音量を調整します。（使用しない音量調節つまみは最小にしておいてください。）

❹ ライン音量調節つまみ

入力の音量を調節します。（使用しないときは音量調節つまみを最小にしておいてください。）

❺ 音質調節つまみ（低音、高音）

入力 1 ～入力 4 とライン、ラジオの音質を調節します。（ラジオユニット組み込み時）

❻ ラジオユニット組み込みスペース

ラジオチューナーユニット（別売：PA-F2-G）の組み込みスペースです。操作方法については、ユニットの取扱説明書をご覧ください。

❼ 電源表示灯

電源スイッチを「入」にすると点灯します。

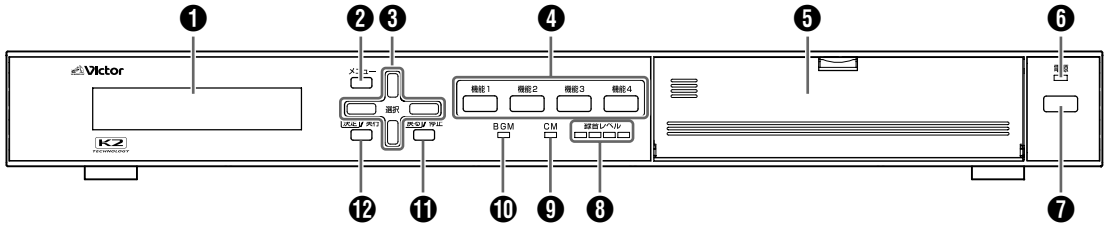
❽ 電源スイッチ

通常は「切」にしておいてください。

「入」にしておくと放送復旧スイッチを押しても、パワーアンプとミキサーは電源が入ったままになります。

デジタル音源（PA-D）シリーズ

ここでは、PA-DA300 を例に説明します。PA-DT600 ／ DR600 ／ DA600 を使用の場合は、それぞれの製品に添付されている取扱説明書をご確認ください。



❶ LCD 画面

待機画面、実行中画面などの各種画面が表示されます。
EM-D36 と連動して使用する場合には、実行中画面であることを確認してください。

❷ メニューボタン

❸ 選択　上、下、左、右ボタン

設定をするときに使用します。詳細はそれぞれの製品に添付されている取扱説明書をご確認ください。

❹ 機能　1、2、3、4 ボタン

EM-D36 と連動して使用される場合は、PA-DT600、PA-DA600 でパターンを実行する場合にのみ、ご使用ください。

❺ カバー

メモリカードの出し入れや USB ケーブル、ヘッドホンを接続するとき、ボリュームを調節するときにカバーをあけて使用します。カバー内の機能の説明はそれぞれの製品に添付されている取扱説明書をご確認ください。

❻ 電源表示灯

電源を入れると、緑色に点灯します。

❼ 電源ボタン

電源の入／切をするときに使用します。

❽ 録音レベル表示灯

録音時に録音音量レベルを表示します。

❾ CM 表示灯

CM プレイリスト再生中、緑色に点灯します。

❿ BGM 表示灯

BGM プレイリスト再生中、オレンジ色に点灯します。

⓫ 戻る／停止ボタン

実行中の動作を停止するときや設定中に上位メニューに戻るときにこのボタンを押します。

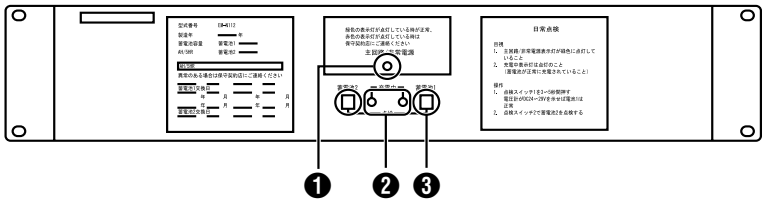
⓬ 決定／実行ボタン

カーソルのある項目を決定または動作を実行するときにこのボタンを押します。

その他の機器（つづき）

非常電源ユニット（EM-N112）

本システム用の電源ユニットです。



❶ 主回路／非常電源表示灯

AC100V 時に AC 電源電圧の状態を表示し、停電時および蓄電池点検時に電池電圧の状態を表示します。
（正常時→緑色点灯、異常時→赤色点灯）

❷ 充電表示灯

蓄電池に電源を充電しているとき点灯します。

❸ 蓄電池点検スイッチ

このスイッチを押すと充電表示灯が消灯し、主回路／非常電源表示灯に蓄電池電圧が正常かどうかを表示します。
（正常時→緑色点灯、異常時→赤色点灯）

緊急優先放送とは

本システムでは、地震、事故、防犯上の緊急連絡などの緊急事態に、最優先で放送可能とする緊急優先放送機能を持っています。緊急優先放送には、「緊急優先一斉放送」「緊急優先ブロック放送」「緊急優先起動放送」の３種類の放送があります。

緊急優先放送では、放送先のスピーカーのアッテネーターがどの位置にあっても最大音量で放送されます。

●緊急優先一斉放送

本体操作パネルの「緊急優先一斉スイッチ」操作ひとつで、全スピーカー回線に他の放送より優先してアナウンスマイクで放送ができます。

停電時にも、「緊急優先一斉スイッチ」操作ひとつでシステムの電源を起動し、アナウンスマイクで放送可能な状態となります。

●緊急優先ブロック放送　[橙ネームカード]

本体の出力スイッチを「緊急優先ブロックスイッチ」として設定すると、ボタン操作ひとつで、登録した任意のスピーカー回線に他の放送より優先してアナウンスマイクで放送ができます。

また、デジタル音源 (PA-D) シリーズと連動して、登録したメッセージを放送することができます。

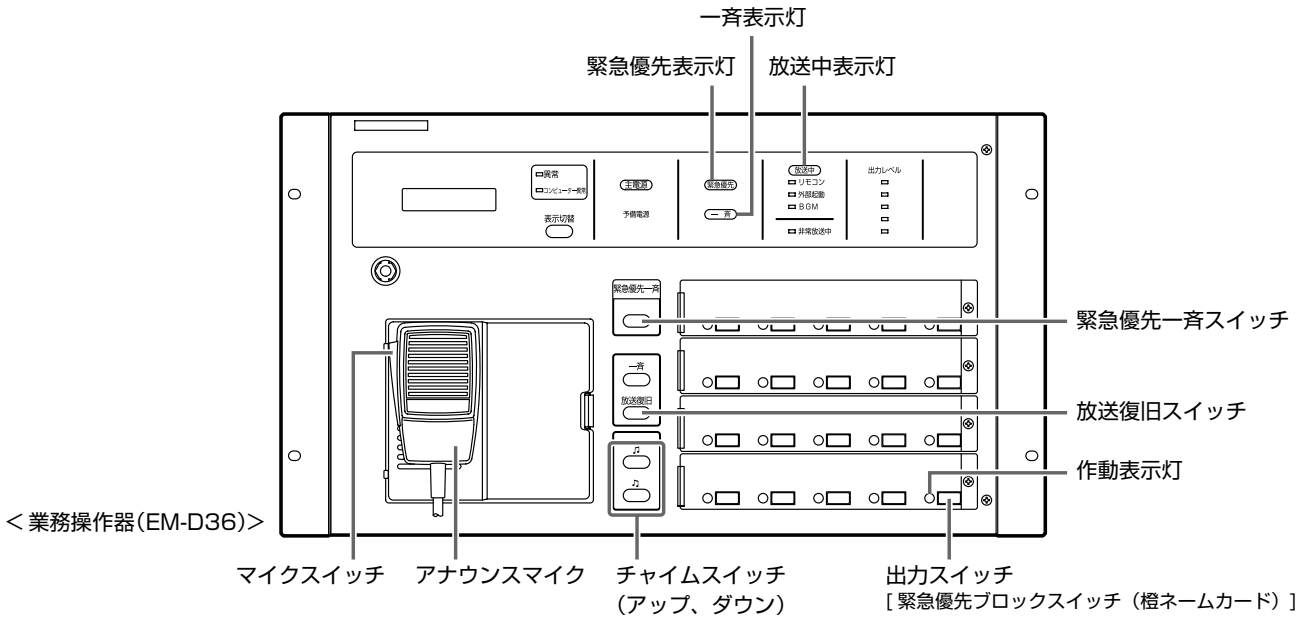
●緊急優先起動放送

外部機器（センサーや起動スイッチなど）からの起動により、デジタル音源 (PA-D) シリーズ、または外部の緊急放送用音源と連動して、登録したメッセージを任意のスピーカー回線に他の放送より優先して放送ができます。

メモ：

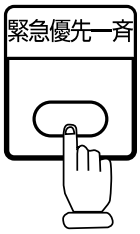
- デジタル音源 (PA-D) シリーズとの連動放送中は、作動表示灯、キー操作音の動作が遅くなります。
- 放送先の選択、メッセージの連動放送、外部機器からの制御を行うためには、あらかじめ工事とシステム設定が必要です。
- 停電放送に対応するためには、非常電源ユニットと蓄電池が必要になります。
- 内容の変更をする場合は、お買い上げの販売店や保守点検契約業者、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

緊急優先一斉放送のしかた



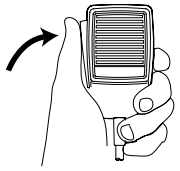
1. 緊急優先一斉スイッチを押す

緊急優先表示灯、一斉表示灯、放送中表示灯が点灯し、液晶表示部に「キンキュウユウセンホウソウ」と表示されます。
このとき、作動表示灯は点灯しません。



2. アナウンスマイクで放送を行う

アナウンスマイクのマイクスイッチを押し、放送を行います。
放送の前後にチャイムを鳴らすときは、チャイムスイッチ (アップ、ダウン) を押します。
また、放送したいメッセージが登録されている緊急優先ブロックスイッチ [橙ネームカード] を押すことでメッセージ再生することができます。



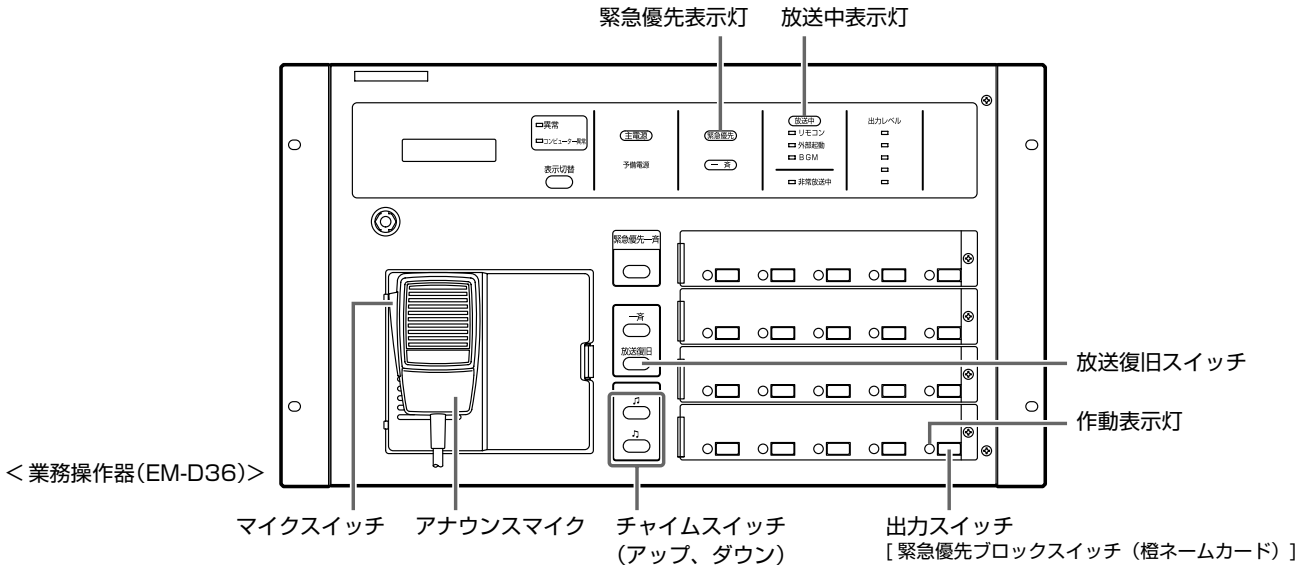
3. 放送を終了する

放送を終えるときは放送復旧スイッチを押します。

メモ：

- EM-D36 の予備電源表示灯が緑色に点灯している場合は、停電時にも緊急優先一斉放送を行うことができます。

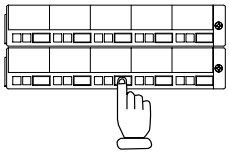
緊急優先ブロック放送のしかた



1. 放送したい場所 (メッセージ) を選ぶ

放送を行う場所の緊急優先ブロックスイッチ [橙ネームカード] を押し、放送を行います。緊急優先表示灯、放送中表示灯が点灯し、液晶表示部に「キンキュウユウセンホウソウ」と表示されます。

メッセージが登録されている場合にはメッセージが放送されます。

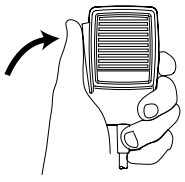


2. 状況に応じて、アナウンスマイクで放送を行う

アナウンスマイクのマイクスイッチを押し、放送を行います。

メッセージを放送しているとき、アナウンスマイクで放送を行うと、メッセージはミューティングされます。マイクスイッチを離すと、メッセージの再生が途中であれば、メッセージ再生に戻ります。

放送の前後にチャイムを鳴らすときは、チャイムスイッチ (アップ、ダウン) を押します。



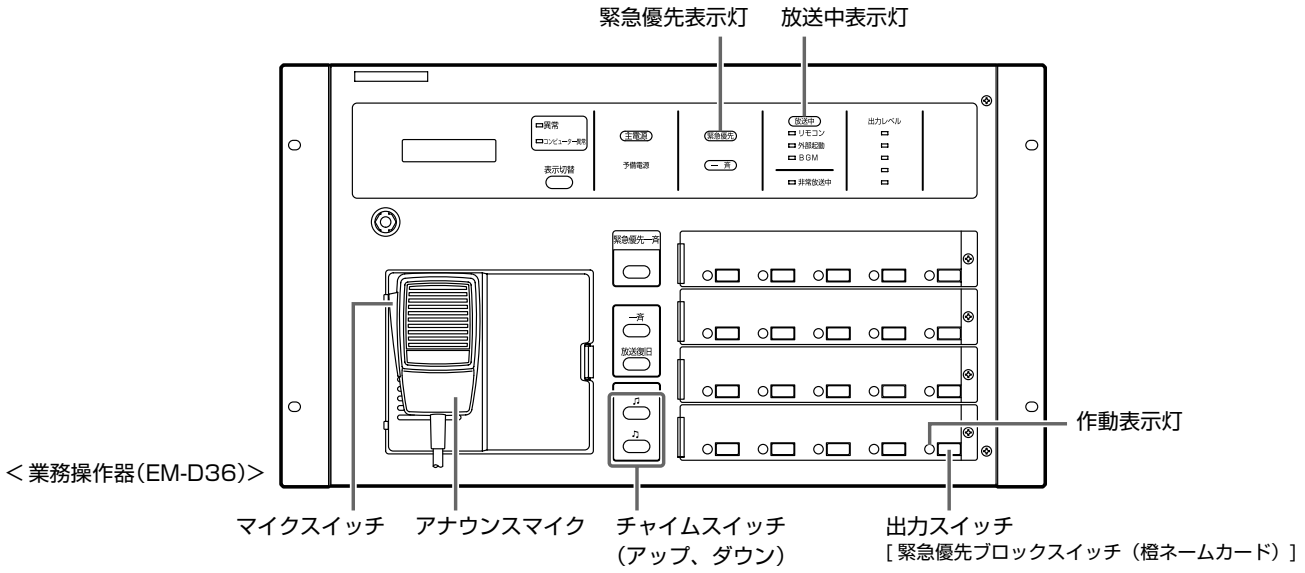
3. 放送を終了する

放送を終えるときは放送復旧スイッチを押します。

メモ :

- メッセージ再生中に別のメッセージが登録された緊急優先ブロックスイッチを押すと、再生中のメッセージを中断して、後から押したスイッチに登録されているメッセージが放送されます。このときの放送先は各ブロックスイッチに登録された放送先をあわせた場所になります。

緊急優先起動放送のしかた



1. 外部機器 (センサーや起動スイッチなど) が作動して、緊急優先起動放送が始まります。

緊急優先表示灯が点灯し、液晶表示部に「キンキュウユウセンホウソウ」と表示されます。

その起動に登録されたメッセージが放送されます。

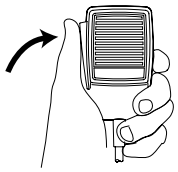
このとき作動表示灯は点灯しません。

2. 状況に応じて、アナウンスマイクで放送を行う

アナウンスマイクのマイクスイッチを押し、放送を行います。

メッセージを放送しているとき、アナウンスマイクで放送を行うと、メッセージはミューティングされます。マイクスイッチを離すと、メッセージの再生が途中であれば、メッセージ再生に戻ります。

放送の前後にチャイムを鳴らすときは、チャイムスイッチ (アップ、ダウン) を押します。



3. 外部機器が停止すると、放送を終了します。

メモ：

- 外部起動による緊急優先起動放送を行うためには、あらかじめ工事とシステム設定が必要です。
- 内容の変更をする場合は、お買い上げの販売店や保守点検契約業者、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

ブロックスイッチによる業務放送

本システムでは、出力スイッチは、機能／用途別に複数のスピーカー回線をグループにまとめて設定し、ひとつのスイッチで放送できる「ブロック放送」機能を持っています。
また、デジタル音源 (PA-D) シリーズに登録したメッセージや BGM を連動して放送することができます。
設定により、下記の 3 種類のブロック放送ができます。

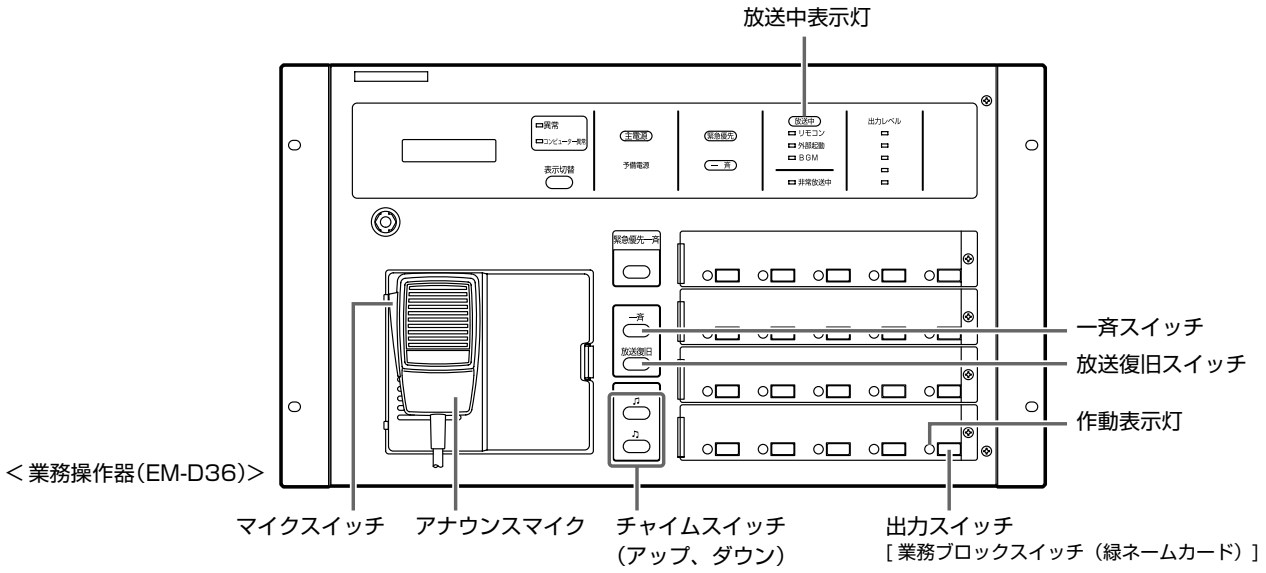
●業務ブロック放送　[緑ネームカード]
アナウンスマイクおよびミキサーユニットに接続した機器から放送することができます。

●メッセージブロック放送　[青ネームカード]
案内、連絡事項などの定形メッセージを放送することができます。
デジタル音源 (PA-D) シリーズと連動して登録したメッセージを放送します。

● BGM ブロック放送　[黄ネームカード]
BGM を放送することができます。
CD プレーヤーや有線放送チューナーなどの BGM 機器から放送します。また、デジタル音源 (PA-D) シリーズと連動して登録した BGM を放送することもできます。
BGM 放送は他の放送より優先順位が低くなっています。
(☞ 26 ページ) 「業務放送の優先関係について」
BGM 放送中に他の放送が開始された場合に BGM の音量を下げて放送することも可能です。(BGM ミキシング機能)

メモ :
- デジタル音源 (PA-D) シリーズとの連動放送中は、作動表示灯、キー操作音の動作が遅くなります。
- 業務ブロック放送とメッセージブロック放送はスイッチごとに緊急指定の設定ができます。緊急指定が設定されたスイッチでは、各放送先のスピーカーのアッテネーターがどの位置であっても最大音量で放送されます。
- 放送先の登録、メッセージや BGM の連動放送を行うためには、あらかじめ工事とシステム設定が必要です。
- 内容の変更をする場合は、お買い上げの販売店や保守点検契約業者、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

業務ブロック放送のしかた

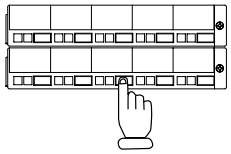


業務操作器（EM-D36）からのマイク放送

1. 放送したい場所を選ぶ

放送する場所の業務ブロックスイッチ [緑ネームカード]、または一斉スイッチを押します。

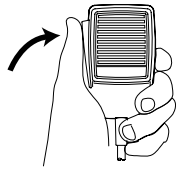
放送中表示灯が点灯し、液晶表示部に「ホンタイ」と表示されます。



2. 放送を行う

アナウンスマイクのマイクスイッチを押し、放送を行います。

放送の前後にチャイムを鳴らすときは、チャイムスイッチ (アップ、ダウン) を押します。



3. 放送を終了する

放送を終えるときは放送復旧スイッチを押します。

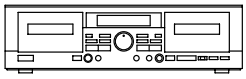
メモ：

- 出力スイッチを押し、作動表示灯の点灯を確認してから放送してください。

ミキサーユニット（EM-M102）からの放送

CD プレーヤーやカセットデッキで放送するとき

CD オートマチック
チェンジャー



ステレオダブル
カセットデッキ

1. 放送したい場所を選ぶ

放送したい場所の業務ブロックスイッチ [緑ネームカード]、または一斉スイッチを押してください。

2. CD プレーヤー、カセットデッキを演奏させる

操作方法については、CD プレーヤー、カセットデッキの取扱説明書をお読みください。

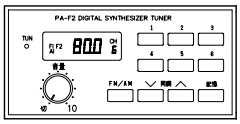
3. 音量を調節する

ミキサーユニットの音量を調節します。

4. 放送を終了する

放送を終えるときは放送復旧スイッチを押します。

ラジオを放送するとき



ラジオチューナーユニット
PA-F2-G（別売り）

1. 放送したい場所を選ぶ

放送したい場所の業務ブロックスイッチ [緑ネームカード]、または一斉スイッチを押してください。

2. 電源を入れる

音量つまみを「切」の位置から時計方向に回します。

3.「FM」または「AM」を選択する

「FM ／ AM スイッチ」を 1 回押すごとに、次のように切り換わります。

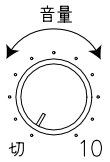
FM1 → FM2 → AM → FM1 ･･･（繰り返し）

4. 放送局を選ぶ

希望の放送局（周波数）に合わせるか、選曲ボタンを押します。

5. 音量を調節する

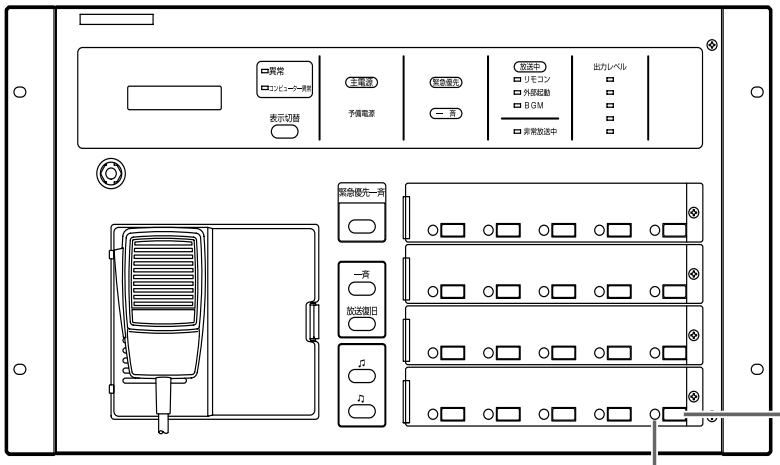
音量つまみで音量を調節します。



6. 放送を終了する

放送を終えるときは放送復旧スイッチを押します。

メッセージブロック放送のしかた



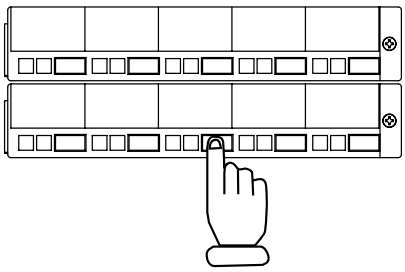
出力スイッチ
[メッセージブロックスイッチ（青ネームカード）]

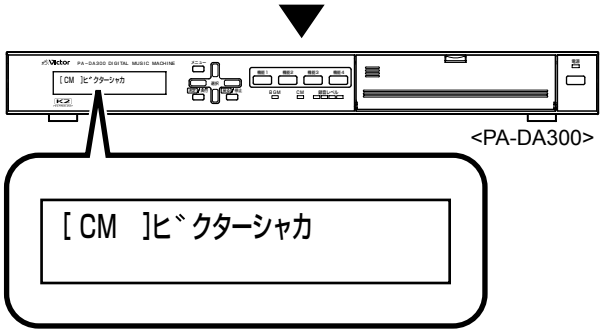
作動表示灯

＜業務操作器(EM-D36)＞

1. 放送したいメッセージを選ぶ

- 放送したいメッセージが登録されたメッセージブロックスイッチ [青ネームカード] を押します。登録されたメッセージが放送されます。
- 連動しているデジタル音源（PA-D）シリーズが動作し、液晶表示部には放送中のプレイリストが表示されます。





<PA-DA300>

2. メッセージを終了する

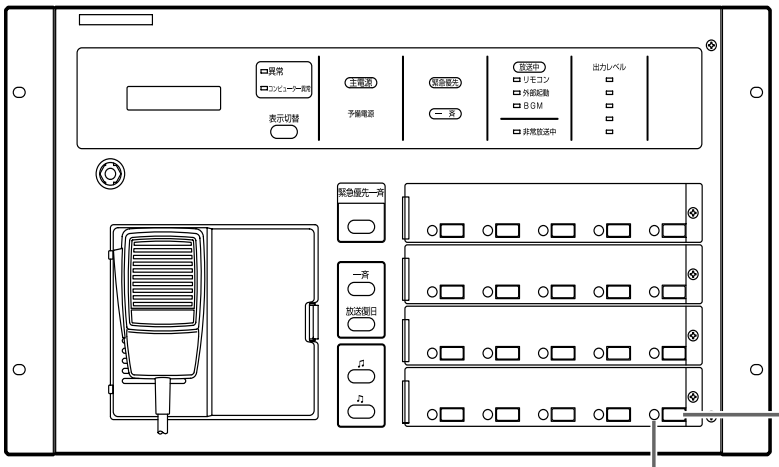
メッセージの再生が終了すると、自動的に放送解除します。

途中で放送を終了したいときは、メッセージブロックスイッチ[青ネームカード]を再度押してください。放送復旧スイッチでは放送解除できません。

メモ：

- メッセージ再生中に別のメッセージが登録されたメッセージブロックスイッチを押すと、再生中のメッセージを中断して、後から押したスイッチに登録されているメッセージが放送されます。このときの放送先は、各ブロックスイッチに登録された放送先を合わせた場所になります。

BGM ブロック放送のしかた



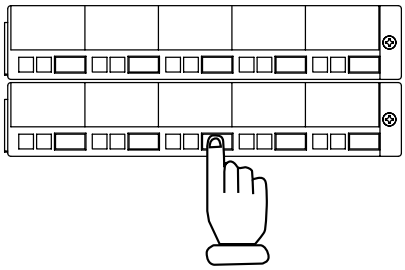
出力スイッチ
[BGM ブロックスイッチ（黄ネームカード）]

作動表示灯

＜業務操作器(EM-D36)＞

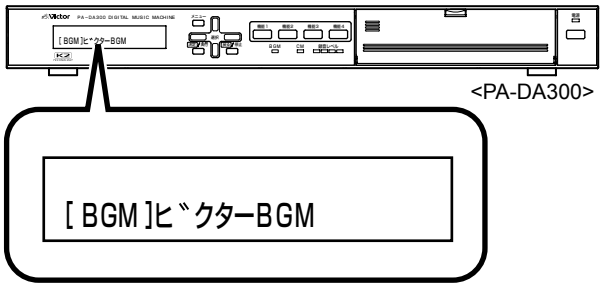
1. 放送したい場所 (BGM) を選ぶ

放送したい BGM ブロックスイッチ [黄ネームカード] を押します。



2. BGM 機器を演奏させる

- デジタル音源(PA-D)シリーズとの連動設定がされている場合は自動的に BGM の演奏が始まります。
- 連動しているデジタル音源（PA-D）シリーズが動作し、液晶表示部には放送中のプレイリストが表示されます。



<PA-DA300>

3. BGM を終了する

- デジタル音源(PA-D)シリーズと連動設定がされていない場合

  終了するときには、BGM ブロックスイッチ [黄ネームカード] を再度押してください。放送復旧スイッチでは放送解除できません。
- デジタル音源 (PA-D) シリーズと連動設定がされている場合

  BGM の再生が終了すると、放送解除します。

  途中で放送を終了したいときは、BGM ブロックスイッチ [黄ネームカード] を再度押してください。放送復旧スイッチでは放送解除できません。

メモ：

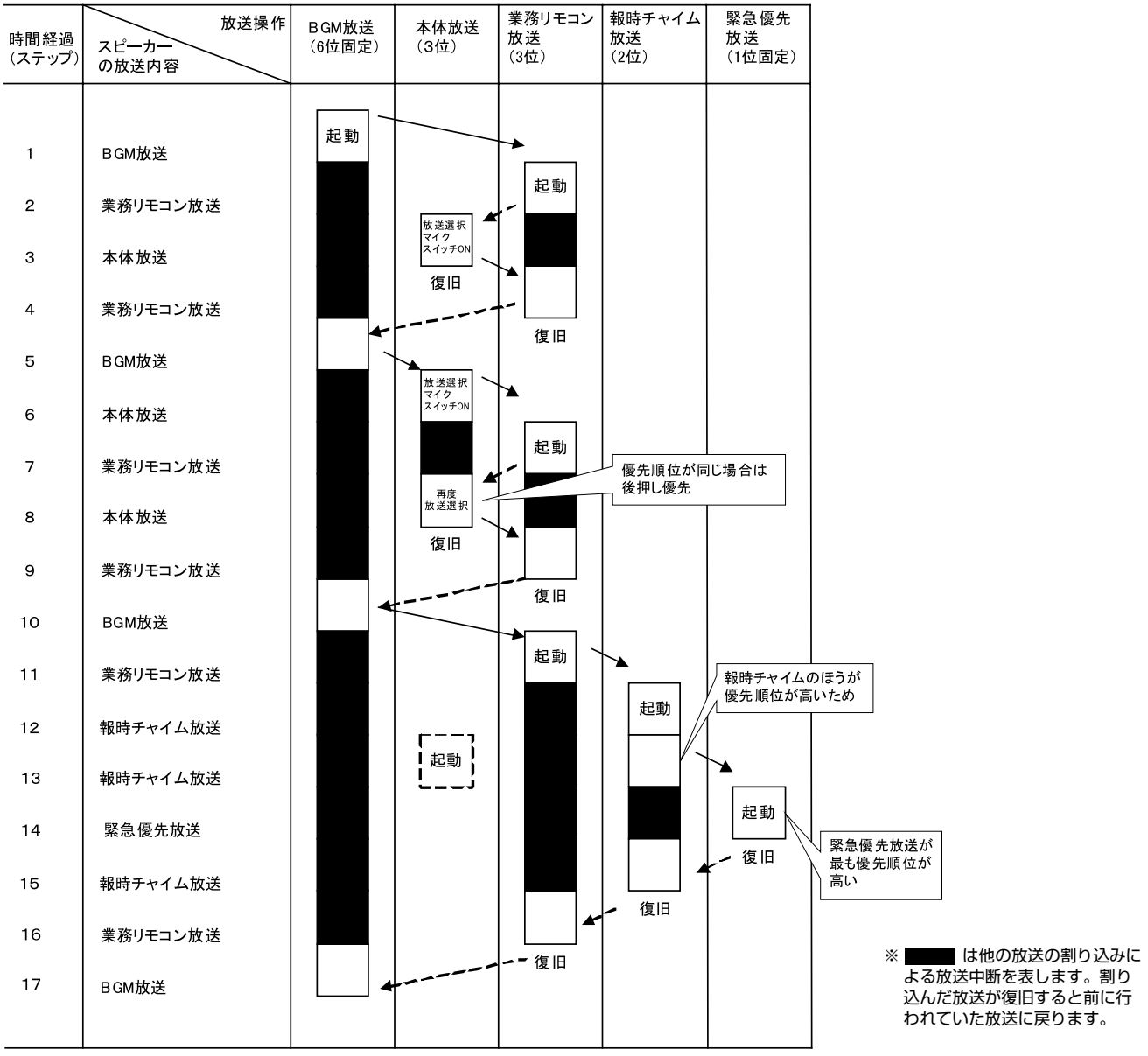
- デジタル音源 (PA-D) シリーズとの連動設定がされた BGM ブロック放送中にデジタル音源 (PA-D) シリーズと連動設定された他の BGM ブロックスイッチを押すと放送中の BGM は停止され、後に押された BGM ブロックスイッチに登録された BGM が放送されます。
  このときの放送先は各ブロックスイッチに登録された放送先を合わせた場所になります。
- デジタル音源 (PA-D) シリーズと連動設定がされている BGM ブロックと連動設定がされていない BGM ブロックで放送中の場合、BGM の再生が終了すると、連動設定がされている BGM ブロックのみ放送解除されます。

業務放送の優先関係について

工場出荷状態の業務放送は 17 の放送機器（放送グループ）に分かれており、緊急優先放送、BGM 放送以外の放送機器（放送グループ）では後で押したスイッチが優先します。緊急優先放送は他の放送機器（放送グループ）よりも優先順位が高くなっており、BGM 放送は他の放送機器（放送グループ）よりも優先順位が低くなっています。

放送機器（放送グループ）一覧

本体 (EM-D36) 放送／業務リモコン (PA-C50) 放送／電話ページング放送／報時チャイム放送／ BGM 放送／アナウンスユニット放送／拡張ユニット放送／マルチ業務リモコン (PA-C620)1 ～ 8 放送／メッセージ放送／緊急優先放送



メモ：

- 緊急優先放送、BGM 放送の優先順位は変更できません。その他の放送機器（放送グループ）は優先順位が変更可能です。上位の放送中は下位の放送の割込みはできません。
- システム設定の内容やマトリックスユニットの有無により、必ずしも上記のように動作しない場合があります。
- 優先関係の設定変更はお買い上げ販売店、保守点検契約業者、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

多元放送について

複合ビルなどで、ブロックごとに同時に異なる放送（呼び出し、メッセージ、BGM など）を行うことがあります。このようにブロックごとに同時に別々の放送を行うことを多元放送といいます。

この放送を実現するためにマトリックスコントロールユニット（PA-MX52）やデジタルマトリックスユニット（PA-MX92）を使用します。

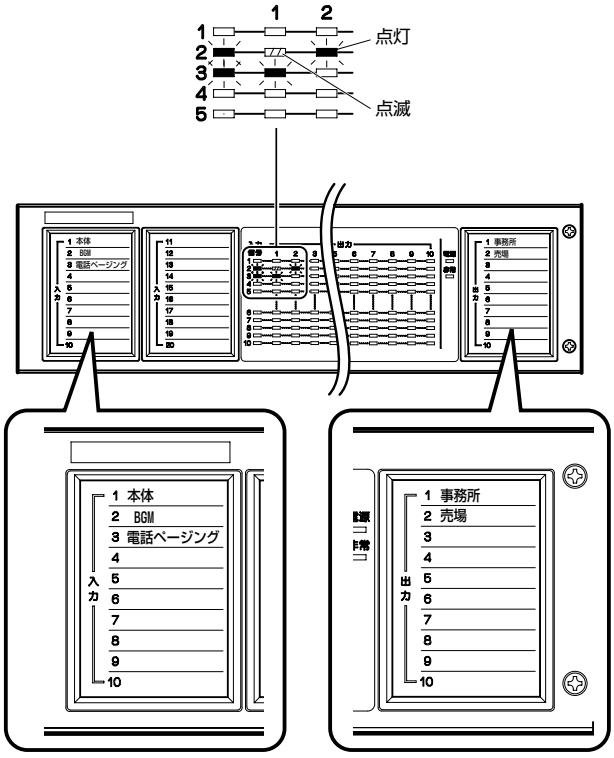
多元放送の操作について

◆多元放送を行う前には、液晶表示で現在行われている放送内容を確認してください。

業務操作器（EM-D36）の作動表示灯が点灯していない場合でも、他の放送機器で呼び出し放送や案内放送が行われている場合があります。

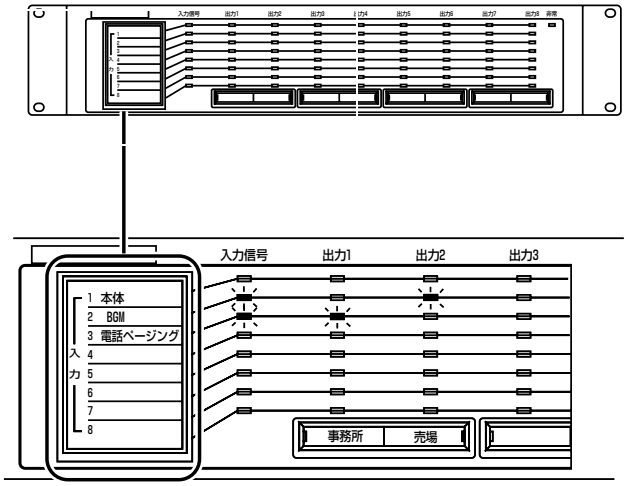
◆現在放送中の放送内容は、デジタルマトリックスユニット（PA-MX92）、マトリックスコントロールユニット（PA-MX52）のクロスポイント表示灯の点灯により現在放送中の放送機器と放送先が詳しく確認できます。

〈デジタルマトリックスユニット（PA-MX92）の場合〉



例）現在、事務所に電話ページングと BGM のミキシング放送を、売場に B G M 放送を行なっています。

〈マトリックスコントロールユニット（PA-MX52）の場合〉



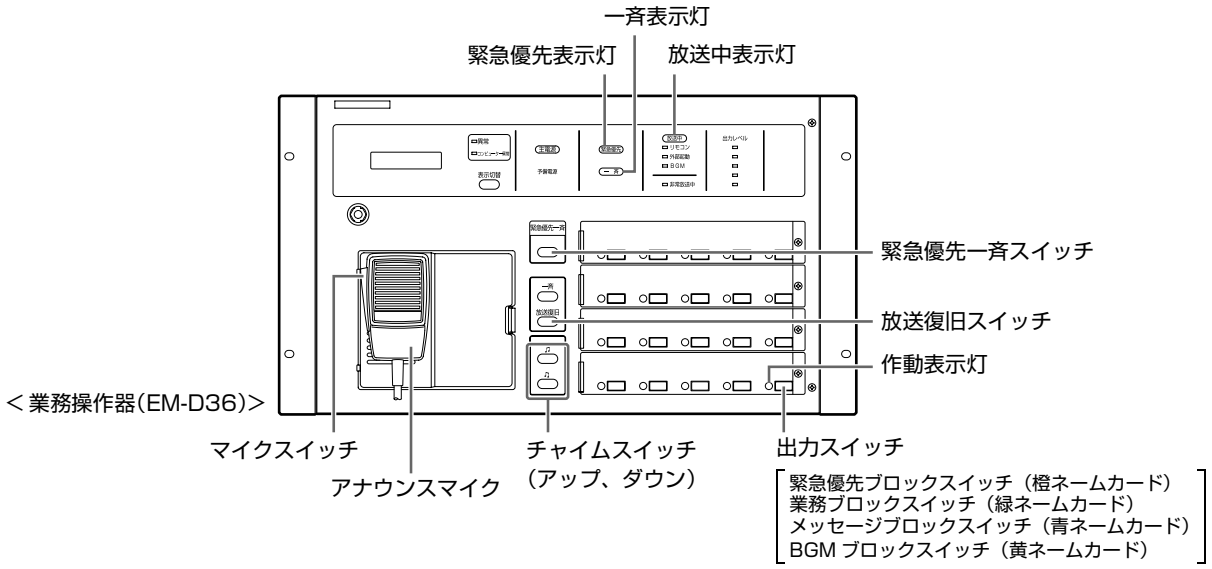
例）現在、事務所に電話ページングを、売場に BGM 放送を行なっています。

メモ：

- システムの設定によっては、BGM 放送などを行なっているとき一時的に放送が切れ、無音となる場合があります。
- 放送が切れないようにしたい場合は、お買い上げ販売店、保守点検契約業者、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

停電時の放送について

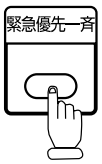
- 業務操作器（EM-D36）の予備電源表示灯が緑色に点灯している場合、停電時にも本システムを起動して放送を行うことが可能です。
  予備電源用蓄電池は１時間停電を続けた後１０分間、定格出力で放送できます。
- 停電時に本システムから放送する方法には「緊急優先一斉放送」と「停電起動放送」の２種類があります。



緊急優先一斉放送

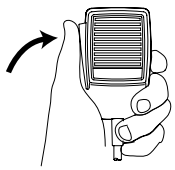
業務操作器 (EM-D36) の緊急優先一斉スイッチで予備電源を立ち上げ、緊急優先一斉放送を行います。

1. 緊急優先一斉スイッチを押す



緊急優先表示灯、一斉表示灯、放送中表示灯が点灯し、液晶表示部に「キンキュウユウセンホウソウ」と表示されます。
このときは、作動表示灯は点灯しません。

2. アナウンスマイクで放送を行う



アナウンスマイクのマイクスイッチを押し、放送を行います。放送の前後にチャイムを鳴らすときは、チャイムスイッチ (アップ、ダウン) を押します。
また、放送したいメッセージが登録されている緊急優先ブロックスイッチ [橙ネームカード] を押すことでメッセージ再生することができます。

3. 放送を終了する

放送を終えるときは放送復旧スイッチを押します。放送終了後、本システムは停電状態に戻ります。

停電起動放送

外部機器 (センサーや起動スイッチ) からの起動により予備電源を立ち上げ、停電起動放送を行います。

1. 外部機器が作動する

外部機器が作動すると、システムが立ち上がります。

2. 放送を行う

設定により、各種の外部起動放送が開始されます。
外部起動放送の設定をしていない場合は業務操作器 (EM-D36) からの操作による放送ができます。

3. 外部機器が停止する

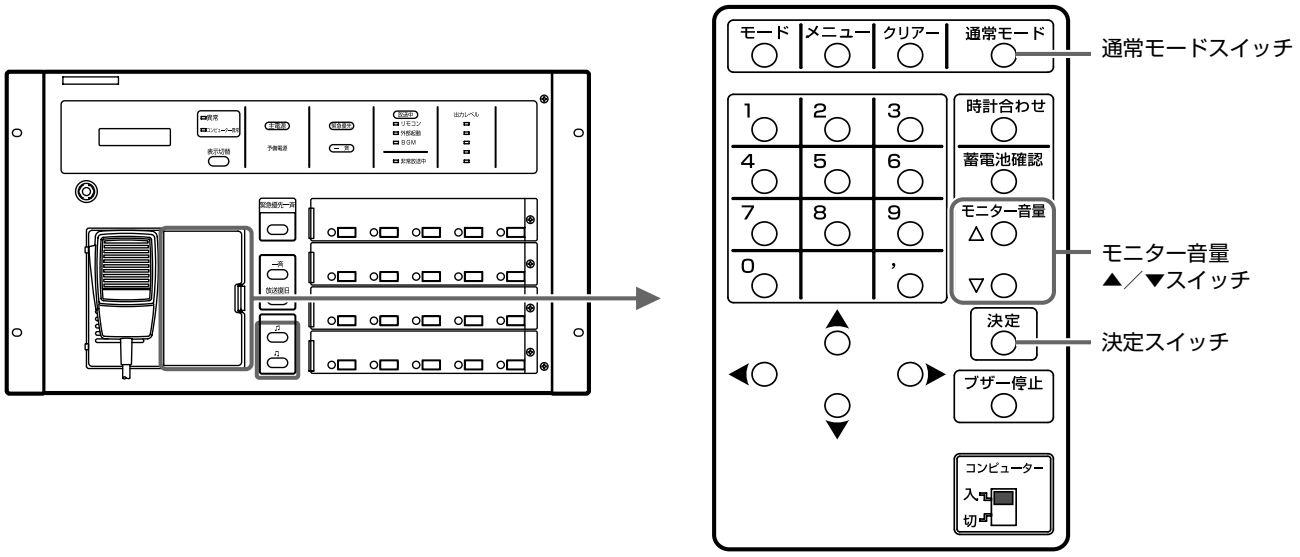
外部機器が停止すると、放送終了し、本システムは停電状態に戻ります。

メモ：

- 停電時に放送を行うためには、あらかじめ工事とシステム設定が必要です。
- 内容の変更をする場合は、お買い上げの販売店や保守点検契約業者、またはビクターサービス窓口にご相談ください。

音量調節のしかた

業務操作器（EM-D36）のモニター音量を設定します。



1. 音量調節画面を表示する

モニター音量▲ / ▼スイッチを押し、「音量調節画面」を表示します。さらに、モニター音量▲ / ▼スイッチを押し、モニター音量（0 ～ 20）を調節します。

```
モニターオンリョウ
オオキサ：１５
```

「音量調節画面」

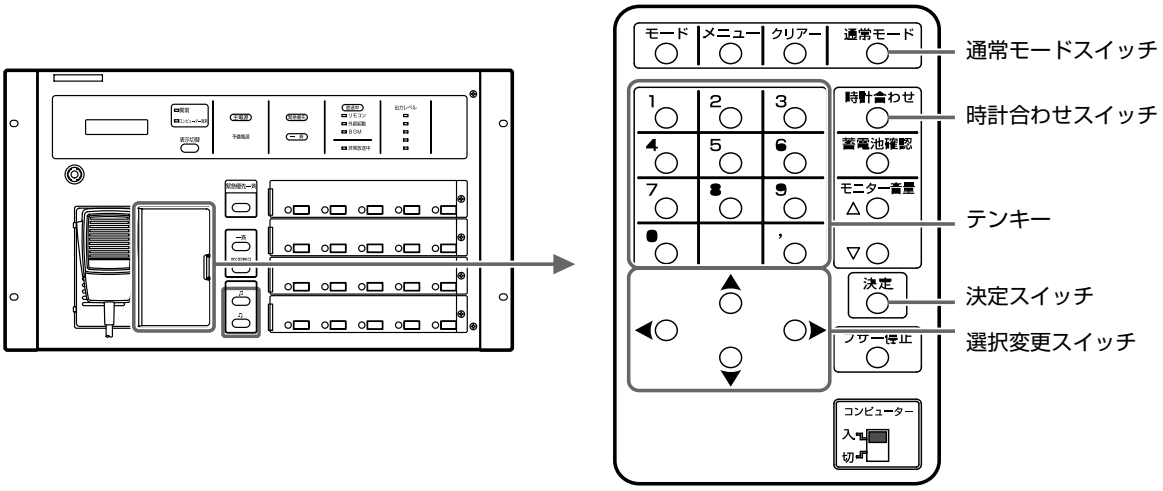
2. 設定を終了する

決定スイッチを押すと変更内容を有効にして終了します。通常モードスイッチを押すと変更内容を無効にして終了します。

時計合わせのしかた

業務操作器（EM-D36）に内蔵されている時計を設定します。本機の時計は機器のメンテナンス用に使用します。あらかじめ、時計が表示されていない場合は、そのまま表示しないことをお勧めします。

時計を表示している場合で、時計の誤差が気になるときのみ、このページのように時計合わせをしてください。時計を表示している場合で、時計精度を高めたいときは、お買い上げ販売店、保守点検契約業者、またはビクターサービス窓口へご相談ください。



1. 時計合わせ画面を表示する

時計合わせスイッチを押し、「時計合わせ」画面を表示します。

```
                20：23
```

2. 年月日時を設定する

選択変更◀▶スイッチを押し、＿（カーソル）を下記の順番で移動し、設定する項目を選択します。

```
07/09/27  21：50
ヒョウジ゛ ：ジ゛コク
```

「時計合わせ画面」

年⇔月⇔日⇔時⇔分⇔表示

「ヒョウジ」選択肢：　ジコク
　　ヒヅケ
　　ナシ

「年」「月」「日」「時」「分」は選択変更▲▼スイッチおよびテンキーで数値を入力し、「表示」は選択変更▲▼スイッチで項目を選択します。あらかじめ時計が表示されていない場合は、そのまま表示しないことをお勧めします。

変更内容を保存したいときは決定スイッチを押し、内容を確定します。このとき秒は「０」より始まります。

途中で設定の変更を中止したいときは通常モードスイッチを押します。このとき時刻は変更されません。

ネームカードについて

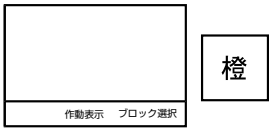
付属のネームカードに放送先の名称を記入し、切り離してご使用ください。

ネームカードの記入

ネームカードは「橙」、「緑」、「青」、「黄」４色のカードをお使いください。

a. 緊急優先ブロックスイッチ用

緊急優先ブロック放送のスイッチとして使います。



b. 業務ブロックスイッチ用

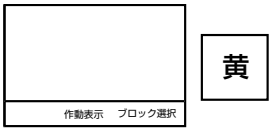
業務ブロック放送のスイッチとして使います。

c. メッセージブロックスイッチ用

メッセージブロック放送のスイッチとして使います。

d. BGM ブロックスイッチ用

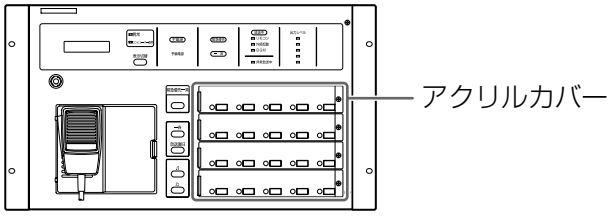
BGM ブロック放送のスイッチとして使います。



ネームカードの取り付け

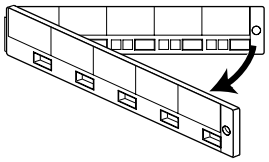
記入を終えたネームカードは下記の手順に従ってアクリルカバーの凹部へはめた後、ネジで固定します。

業務操作器（EM-D36）



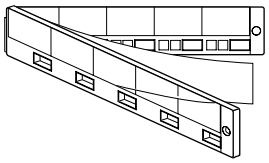
1. アクリルカバーをはずす

アクリルカバーを止めているネジをはずします。



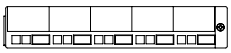
2. ネームカードを差し込む

記入を終えたネームカードをアクリルカバーの内側にはめ込みます。



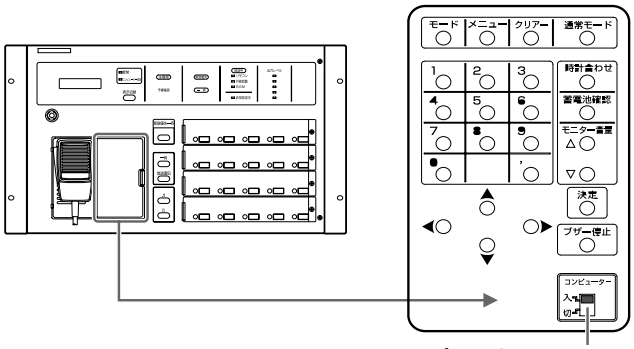
3. アクリルカバーを固定する

ネームプレートがずれないようにアクリルカバーを元の位置に戻し、ネジで締めて固定します。



緊急時、もし機器が動かなくなったら

緊急時、機器が正常に動作しない場合の対応の方法について説明します。



コンピュータースイッチ

万一、機器が正常に動作しなくなった場合、放送が必要であれば、業務操作器 (EM-D36) のポケットカバー内、コンピュータースイッチを「切」にしてください。

業務操作器 (EM-D36) のアナウンスマイクで一斉放送をすることができます。

放送が終了しましたら、コンピュータースイッチを「入」にして速やかにお買い上げ販売店、保守点検契約業者、またはビクターサービス窓口に故障状態をご連絡ください。

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。
保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。
故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄のサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

EM-D36（例）

機種名	：EM-D36
お買い上げ日	：
故障の状況	：故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	：
お名前	：
電話番号	：

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

- 本システムの構成機器の許容動作温度は0℃～４0℃です。
- 本機の定格および外観は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

EM-D36　業務操作器

■出力制御	20 回線および一斉 回線追加ケース（EM-E12)、回線追加ユニット（EM-E5）回線制御ユニット (EM-L92) により最大 100 回線 まで増設可能
■出力スイッチ	5 回路毎に、緊急優先ブロック、業務ブロック、メッセージブロック、BGM ブロックを設定可能
■操作スイッチ	緊急優先一斉、一斉、放送復旧、チャイム（アップ、ダウン)、表示切替
■表示	主電源、予備電源、緊急優先、一斉、放送中 (リモコン、外部起動、BGM、非常放送中)、作動表示灯、異常、コンピューター異常
■内蔵時計	精度：平均月差±２分
■液晶表示（16 文字×２行）	業務放送内容の表示、起動元の表示 異常発生内容の表示 その他（システム設定表示）
■内蔵チャイム	４音チャイム（アップ、ダウン)、２音チャイム、１音チャイム
■モニタースピーカー	出力 0.45 W、音量調節器付、ハウリング防止回路付
■放送出力レベル計	5 点 LED
■動作モード	通常／システム設定／履歴確認／システム点検
■ PC 接続端子	D-sub 9Pin オス（RS-232C）
■時刻校正入力	24 V、30 秒有極パルス（親時計より)、コネクター端子台
■ミキサー部 (レベル、インピーダンス、コネクタ)	
アナウンスマイク入力	-45 dBs、10 kΩ（AGC)、メタルコネクタ
入力１	-20 dBs/0 dBs、２kΩ トランス平衡、コネクター端子台
入力２	-20 dBs/0 dBs、２kΩ トランス平衡、コネクター端子台
入力３	-20 dBs/0 dBs、２kΩ トランス平衡、コネクター端子台
入力４／BGM 入力	-20 dBs/0 dBs、２kΩ トランス平衡、コネクター端子台
業務リモコン入力	0 dBs、２kΩ 電子平衡、端子板（主制御ユニット EM-L32）
マルチ業務リモコン	+6 dBs、５kΩ 電子平衡、端子板（主制御ユニット EM-L32）
音声出力	0 dBs、150 Ω 平衡、コネクター端子台
■周波数特性（１kHz 基準）	50Hz ～ 150kHｚ ±２dB（アナウンスマイクを除く） アナウンスマイク： 150Hz　－４dB ±２ dB 15kHz　－２dB ±２ dB
■歪率	１%以下（30ｋHz、ローパスフィルター）
■ S/N	６５ dB 以上（アナウンスマイク以外、30ｋHｚ ローパスフィルター） ６０ dB 以上（アナウンスマイク、30ｋHｚ ローパスフィルター）
■アナウンスマイク	ムービングコイル（ダイナミック）型　ハンドマイクロフォン付属
■状態出力	本体放送中、BGM 放送中、リモコン放送中、緊急優先放送中、外部起動放送中、一斉放送中、異常発生中、メンテナンス中（８種類）
■電源	DC 24 V、480 mA（追加 DC ユニットもしくは非常電源ユニットより供給を受ける）
■ラックマウントサイズ	EIA ６U
■質量	4.6ｋｇ
■外形寸法	482mm × 264mm × 85mm（幅×高さ×奥行き）
■仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6/0.6 近似)、（日塗工 DN-65（2007 年）近似）

仕様（つづき）

EM-L32　主制御ユニット

■入力端子	パワーアンプ入力 4 回路（H ／ C × 4 組）（端子台） RB 入力 1 回路（RB 入力 +、RB 入力 −）
■出力端子	スピーカー出力 20 回線（SPN ／ SPR ／ SPC 各 20、最大 200 W ／回線）
■業務リモコン接続端子	1 系統（端子台） 最大 4 台（E、RM+24 V、電源 ON、チャイム ON、一斉、本体使用中、業務 RM 音声　H ／ C）
■マルチ業務リモコン接続端子	2 系統（端子台） 最大 8 台（E、RM+24 V、マルチ RMBUS H ／ C、マルチ RM 音声 H ／ C）
■起動入力	標準 13 入力（端子台） 最大 73 入力（スピーカー回線増設用および入出力拡張用 EM-L92 を増設時）
■制御出力	標準 10 出力（プッシュ端子台） デジタル音源（PA-D）シリーズ制御専用
■停電起動入力	1 回路（端子台）
■電源	DC 24 V、580 mA（追加 DC ユニットもしくは非常電源ユニットより供給を受ける）
■ラックマウントサイズ	EIA 2 U
■質量	4.1 k g
■仕上	ライトグレー焼付け塗装（マンセル 3Y6/0.6 近似）、（日塗工 DN-65（2007 年）近似）

EM-M102　ミキサーユニット

■入力回路（レベル、インピーダンス、コネクター）

入力 1・2・3	-60 dBs/-10 dBs、1kΩ 電子平衡、複式フォノジャック
入力 4	-54 dBs（RIAA）/-10 dBs、50kΩ、複式フォノジャック -60 dBs（RIAA）/-16 dBs、50kΩ、ピンジャック（L・R）
アナウンスマイク	-50 dBs（AGC 付）、10 kΩ、フォノジャック
ライン	-10 dBs、10kΩ、ピンジャック（L・R）
W. チャイム	-6 dBs、1kΩ 電子平衡、複式フォノジャック
リモコンマイク	0 dBs、1kΩ 電子平衡、複式フォノジャック
ラジオ	-10 dBs、50kΩ、専用コネクター
4 音チャイム	-16 dBs、50kΩ、専用コネクター

■出力回路（レベル、インピーダンス、コネクター）

ライン出力	0 dBs、300 Ω 平衡、複式フォノジャック
録音出力	0 dBs、1 kΩ、ピンジャック（L・R）

■音質調整	低音、高音独立（100 Hz、10 kHz ± 10 dB）
■周波数特性（1kHz 基準）	50 Hz ～ 15 kHz ± 3 dB
■歪率	0.5 % 以下（50 Hz ～ 15kHz）
■信号対雑音比	50 dB 以上
■電源	DC 24 V、180 mA PA-F2-G、DM-2 組込時（共通制御ラインより供給を受ける）
■ラックマウントサイズ	EIA 2 U、奥行 200 mm（パネル面より）
■質量	3.0 kg
■外形寸法	幅 482 mm ×高さ 88mm × 奥行 200 mm（パネル面より）
■仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）、（日塗工 DN − 65（2007 年）近似）
■ 4 音チャイム	DM-2 組込可能
■ AM ／ FM ラジオ	PA-F2-G 組込可能
■アナウンスマイク	MV-P360 適合

PA-MX92　デジタルマトリックスユニット

■入力回路	音声入力 1 ～ 10	0 dBs/-20 dBs、10 kΩ 電子平衡、3P コネクター端子台× 10
	音声入力 11 ～ 20	0 dBs/-20 dBs、10 kΩ トランス平衡、3P コネクター端子台× 10
	追加音声入出力 1 ～ 20	入力並列接続用、30P コネクター× 2
	非常入力	音声入力 1 を兼用
	音量調節	各入力に VR 付
	レベル設定スイッチ	スライドスイッチ（0 dBs ／ -20 dBs 切換）
■出力回路	音声出力 1 ～ 10	0 dBs、100 Ω トランス平衡、3P コネクター端子台× 10
	音量調節	各出力に VR 付
■制御	モード設定	通常／外部制御／テストモード（ディップスイッチ付き）
	外部制御	RS-232C（D-sub 9Pin）
	非常制御	非常時全入力を音声入力 1 に強制切換（共通制御ラインによる）
	バス制御	EM-D36 業務操作器用専用バス（10P コネクタケーブル） 2 台（20 入力× 20 出力 MAX）まで制御可
■表示	入力信号表示	黄色 LED
	クロスポイント表示	緑色 LED（オン時点灯、ミキシング時点滅）
	非常表示	赤色 LED
	電源表示	緑色 LED
■ AD コンバーター		24 bit
■サンプリング周波数		48 kHz
■周波数特性（1 kHz 基準）		50 Hz ～ 20 kHz ± 3 dB
■歪率		0.1 % 以下（1 kHz）
■ S/N		70 dB 以上
■クロストーク		各入力、出力間　-60 dB 以下（7 kHz）
■フェードインアウト		5 パターン
■ミキシング		2 入力ミキシング可能
■電源		AC 100 V、50 Hz/60 Hz、DC 24 V（停電時非常電源ユニットより供給を受ける）
■消費電力		10 W（電気用品安全法）、DC 300mA （DC 24 V 停電時）
■ラックマウントサイズ		EIA 2 U、奥行 300 mm（パネル面より）
■質量		5.0 kg
■外形寸法		幅 482 mm ×高さ 88mm ×奥行 300mm
■仕上		ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）、（日塗工 DN − 65（2007 年）近似）

EM-S102　モニターユニット

■入力レベル	100 V 定電圧ライン（電力増幅器出力を受ける）
■入力回路数	5 回路
■定格出力	1 W（モニター音量最大時）
■音量調節器	業務時 5 段切換 （非常時プリセット 4 段）
■モニタースピーカー	12.5 cm × 7.85 cm 楕円スピーカー
■出力監視メーター	11 点 LED バーグラフ
■電源	DC 24 V、60 mA（共通制御ラインより供給を受ける）
■ラックマウントサイズ	EIA 2 U、奥行 65 mm（パネル面より）
■質量	1.3 kg
■外形寸法	幅 482 mm ×高さ 88 mm ×奥行 65 mm （パネル面より）
■仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）、（日塗工 DN − 65（2007 年）近似）

仕様（つづき）

PA-MX52 マトリックスコントロールユニット

■入力回路

音声入力 1 ～ 8	0 dBs/-20 dBs（スイッチ切換）、10 kΩ 平衡、フォノジャック
追加音声入力 1 ～ 8	0 dBs、10 kΩ 不平衡、フォノジャック
非常入力	音声入力 1 を兼用
音量調節	各入力に VR 付（フロントパネル調節穴より）
レベル設定スイッチ	スライドスイッチ（フロントパネル調整穴より）

■出力回路

音声出力 1 ～ 8	0 dBs、600 Ω 不平衡、フォノジャック
追加音声入力 1 ～ 8	音声入力回路と並列接続

■制御

手動制御	出力選択スイッチ（8 ビットディップスイッチ） 8 個付
外部制御	制御数 8、専用コネクター（メーク信号）
非常制御	非常時全入力を音声入力 1 に強制切換（共通制御ラインによる）
バス制御	EM-D36 業務操作器用専用バス（20P フラットケーブル）4 台（16 入力× 16 出力 MAX）まで制御可（3 台は不可）
制御切換	背面スライドスイッチ（外部／自動／手動）

■表示

入力信号表示	緑色 LED 点滅
クロスポイント表示	緑色 LED
非常表示	赤色 LED

■周波数特性（1 kHz 基準）	50 Hz ～ 20 kHz ± 3 dB
■歪率	0.1 % 以下
■クロストーク	60 dB 以上（1 kHz）
■電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz、DC 24 V（停電時非常電源ユニットより供給を受ける）
■消費電力	7.0 W（電気用品安全法）、DC 150mA（DC 24 V 停電時）
■ラックマウントサイズ	EIA 2 U、奥行 200 mm（パネル面より）
■質量	4.0 kg
■外形寸法	幅 482 mm ×高さ 88mm × 奥行 200mm
■仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）、（日塗工 DN − 65（2007 年）近似）

EM-E12 回線追加ケース

■回線数	回線追加ユニット（EM-E5）4 個まで組込可（追加 5 回線× 4=20 回線）
■ラックマウントサイズ	EIA 2 U、奥行 70 mm（パネル面より）
■電源	DC 24V、 20mA（EM-D36 より供給を受ける）
	EM-E5 1 台取付時 28 mA
	EM-E5 2 台取付時 36 mA
	EM-E5 3 台取付時 44 mA
	EM-E5 4 台取付時 52 mA
■質量	2.0 kg
	EM-E5 1 台取付時 2.1 kg
	EM-E5 2 台取付時 2.2 kg
	EM-E5 3 台取付時 2.3 kg
	EM-E5 4 台取付時 2.4 kg
■外形寸法	幅 482 mm ×高さ 88mm × 奥行 70mm（パネル面より）
■仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）、（日塗工 DN − 65（2007 年）近似）

EM-E5 回線追加ユニット

■回線数	5 回線
■組込対象ユニット	回線追加ケース（EM-E12 専用）
■電源	DC 24 V、8 mA（EM-E12 より供給を受ける）
■質量	60 g
■外形寸法	幅 190 mm ×高さ 33 mm × 奥行 25 mm
■付属品	アクリルパネル

EM-P11　主電源ユニット

■電源供給部

AC 100V 入力	30A サーキットブレーカー× 1
AC 100V 出力	スイッチ連動　：9（合計最大 8 A × 3）
	スイッチ非連動　：3（合計最大 3 A）
■電源起動端子	2P モレックス× 2、端子版× 1 回路（メーク接点）
■電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
■消費電力	5W
■ラックマウントサイズ	EIA 1 U、奥行 300 mm（パネル面より）
■質量	4.0 kg
■外形寸法	幅 482 mm ×高さ 44 mm × 奥行 300 mm（パネル面より）
■仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）、（日塗工 DN − 65（2007 年）近似）

EM-P22　追加 DC ユニット

■出力電圧、容量	DC 24 V、3.2 A
■電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
■消費電力	112 W
■ラックマウントサイズ	EIA 2 U、奥行 200 mm（パネル面より）
■質量	5.7 kg
■外形寸法	幅 482 mm ×高さ 88 mm × 奥行 200 mm（パネル面より）
■仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）、（日塗工 DN − 65（2007 年）近似）

EM-N112　非常電源ユニット

■充電部

充電方式	トリクル充電
点検スイッチ	ノンロックプッシュ方式（プッシュ時、放電抵抗を接続して蓄電池電圧を点検）
充電中表示灯	2 個付（発光ダイオード）

■蓄電池部

使用蓄電池	密閉ニッケルカドミウム蓄電池 NB-60 型または NB-35B 型 2 台まで収容可能
蓄電池容量	NB-60 型　DC 24 V、6000 mAh/0.2 CmA、充電電流 160mA NB-35B 型　DC 24 V、3500 mAh/0.2 CmA、充電電流 100mA （古河電池製）
適合規格	蓄電池設備認定委員会合格品
■ AC 動作時	1）　常時蓄電池の充電を行う 2）　制御用電流容量 DC 24V 最大 1.6 A（共通制御ライン）
■ DC 動作時	1）　停電時（含非常時）制御用電流 2）　非常で停電時のみ「蓄電池出力端子」に電流を供給する

■定格放電電流

使用周囲温度	0 ℃～ +40 ℃
NB-60 型 ／ 1 本	14 A（10 分）
NB-35B 型 ／ 1 本	8 A（10 分）
■電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
■消費電力	70 W（最大時）
■ラックマウントサイズ	EIA 2 U、奥行 300 mm（パネル面より）
■質量	6.0 kg（バッテリーは含まず）
■外形寸法	幅 482 mm ×高さ 88mm × 奥行 300mm（パネル面より）
■仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）、（日塗工 DN − 65（2007 年）近似）
■その他	パネルを開閉することにより前面から蓄電池交換可能

仕様（つづき）

EM-A083/EM-A163/EM-A244/EM-A364　パワーアンプ

	EM-A083 80W パワーアンプ	EM-A163 160W パワーアンプ	EM-A244 240W パワーアンプ	EM-A364 360W パワーアンプ
■適合規格	国土交通省（旧建設省） 電気設備工事共通仕様書	国土交通省（旧建設省） 電気設備工事共通仕様書	国土交通省（旧建設省） 電気設備工事共通仕様書	国土交通省（旧建設省） 電気設備工事共通仕様書
■定格出力	80 W	160 W	240 W	360 W
■負荷インピーダンス	125 Ω （100 V 定電圧ライン）	63 Ω （100 V 定電圧ライン）	42 Ω （100 V 定電圧ライン）	28 Ω （100 V 定電圧ライン）
■周波数特性	50 Hz ～ 15 kHz （+0 dB/- 3 dB）	50 Hz ～ 15 kHz （+0 dB/- 3 dB）	50 Hz ～ 15 kHz （+0 dB/- 3 dB）	50 Hz ～ 15 kHz （+0 dB/- 3 dB）
■歪率	1 % 以下	1 % 以下	1 % 以下	1 % 以下
■入力レベル	0 dBs ± 5 dB 可変	0 dBs ± 5 dB 可変	0 dBs ± 5 dB 可変	0 dBs ± 5 dB 可変
■入力インピーダンス	75 kΩ（電子平衡）	75 kΩ（電子平衡）	75 kΩ（電子平衡）	75 kΩ（電子平衡）
■信号対雑音比	75 dB 以上 （電力増幅器単品測定）	75 dB 以上 （電力増幅器単品測定）	75 dB 以上 （電力増幅器単品測定）	75 dB 以上 （電力増幅器単品測定）
■電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz DC 24 V（停電時、非常電源ユニットより供給を受ける）	AC 100 V、50 Hz/60 Hz DC 24 V（停電時、非常電源ユニットより供給を受ける）	AC 100 V、50 Hz/60 Hz DC 24 V（停電時、非常電源ユニットより供給を受ける）	AC 100 V、50 Hz/60 Hz DC 24 V（停電時、非常電源ユニットより供給を受ける）
■消費電力	63 W、定格出力時 162 W	114 W、定格出力時 321 W	178 W、定格出力時 488 W	230 W、定格出力時 666 W
■消費電流	4.6 A （DC 24 V、定格出力時）	9.3 A （DC 24 V、定格出力時）	14.1 A （DC 24 V、定格出力時）	19.5 A （DC 24 V、定格出力時）
■ラックマウントサイズ	EIA 3 U、奥行 200 mm （パネル面より）	EIA 3 U、奥行 200 mm （パネル面より）	EIA 4 U、奥行 200 mm （パネル面より）	EIA 4 U、奥行 200 mm （パネル面より）
■質量	10 kg	11.5 kg	15 kg	18 kg
■外形寸法	482 mm×132 mm×200 mm （幅×高さ×奥行き） （パネル面より）		482 mm×177 mm×200 mm （幅×高さ×奥行き） （パネル面より）	
■仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）、（日塗工 DN − 65（2007 年）近似）			

EM-A243/EM-A363 パワーアンプ

	EM-A243 240W パワーアンプ	EM-A363 360W パワーアンプ
■適合規格	国土交通省（旧建設省） 電気設備工事共通仕様書	国土交通省（旧建設省） 電気設備工事共通仕様書
■定格出力	240 W	360 W
■負荷インピーダンス	42 Ω （100 V 定電圧ライン）	28 Ω （100 V 定電圧ライン）
■周波数特性	70 Hz ～ 15 kHz （+0 dB/- 3 dB）	70 Hz ～ 15 kHz （+0 dB/- 3 dB）
■歪率	5 % 以下	5 % 以下
■入力レベル	0 dBs （=0.775 V）	0 dBs （=0.775 V）
■入力インピーダンス	20 kΩ（電子平衡）	20 kΩ（電子平衡）
■信号対雑音比	75 dB 以上 （電力増幅器単品測定）	75 dB 以上 （電力増幅器単品測定）
■電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz、DC 24 V （停電時、非常電源ユニットより供給を受ける）	AC 100 V、50 Hz/60 Hz、DC 24 V （停電時、非常電源ユニットより供給を受ける）
■消費電力	120 W、定格出力時 380 W	170 W、定格出力時 550 W
■消費電流	14 A （DC 24 V、定格出力 -3 dB 時）	19 A （DC 24 V、定格出力 -3 dB 時）
■ラックマウントサイズ	EIA 3 U、奥行 200 mm （パネル面より）	EIA 3 U、奥行 200 mm （パネル面より）
■質量	9.9 kg	10.7 kg
■外形寸法	幅 482 mm ×高さ 132 mm ×奥行 200 mm（パネル面より）	
■仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）、（日塗工 DN − 65（2007 年）近似）	

仕様（つづき）

EM-A842D/EM-A822D　デジタルパワーアンプ

	EM-A842D 320W デジタルパワーアンプ	EM-A822D 160W デジタルパワーアンプ
■適合規格	国土交通省（旧建設省） 電気設備工事共通仕様書	国土交通省（旧建設省） 電気設備工事共通仕様書
■定格出力	320 W（80 W × 4 チャンネル並列接続） 240 W（80 W × 3 チャンネル並列接続） 160 W（80 W × 2 チャンネル並列接続） 80 W	160 W（80 W × 2 チャンネル並列接続） 80 W
■負荷インピーダンス	31 Ω（320 W の場合）、42 Ω（240 W の場合） 63 Ω（160 W の場合）、125 Ω（80 W の場合）	63 Ω（160 W の場合） 125 Ω（80 W の場合）
■周波数特性	60 Hz ～ 15 kHz （+0 dB/- 3 dB 定格負荷時）	60 Hz ～ 15 kHz （+0 dB/- 3 dB 定格負荷時）
■歪率（1 kHz）	1 % 以下	1 % 以下
■入力レベル	0 dBs （=0.775 V）	0 dBs （=0.775 V）
■入力インピーダンス	40 kΩ 以上（電子平衡）	40 kΩ 以上（電子平衡）
■信号対雑音比	85 dB 以上 （電力増幅器単体測定）（JIS-A）	85 dB 以上 （電力増幅器単体測定）（JIS-A）
■電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz DC 24 V （停電時、非常電源ユニットより供給を受ける）	AC 100 V、50 Hz/60 Hz DC 24 V （停電時、非常電源ユニットより供給を受ける）
■消費電力	170W	90 W
■消費電流	18 A （DC 24 V、定格出力時）	9 A （DC 24 V、定格出力 時）
■ラックマウントサイズ	EIA 2 U、奥行 300 mm （パネル面より）	EIA 2 U、奥行 300 mm （パネル面より）
■質量	15 kg 以下	10 kg 以下
■外形寸法	幅 482 mm ×高さ 88 mm ×奥行 300 mm（パネル面より）	
■仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）、（日塗工 DN − 65（2007 年）近似）	

PA-U1/PA-U2/PA-U3　ブランクパネル

■質量	PA-U1 ‥‥‥‥　270 g PA-U2 ‥‥‥‥　460 g PA-U3 ‥‥‥‥　650 g
■外形寸法	PA-U1 ‥‥‥‥　幅 482 mm ×高さ 44 mm ×奥行 15 mm（EIA 1 U） PA-U2 ‥‥‥‥　幅 482 mm ×高さ 88 mm ×奥行 15 mm（EIA 2 U） PA-U3 ‥‥‥‥　幅 482 mm ×高さ 132 mm ×奥行 15 mm（EIA 3 U）
■仕上	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）、（日塗工 DN − 65（2007 年）近似）

EM-L92　回線制御ユニット

■入力端子

起動入力	20 回線（端子台）
パワーアンプ入力	4 回線（H／C × 4 組）（端子台）

■出力端子

制御出力	20 回線（端子台）
緊急優先放送中出力	1 回路（端子台）
緊急優先放送中リレー出力	メーク、ブレーク　各 1 回路（端子台）

■電源　DC 24 V、600 mA（追加 DC ユニットまたは非常電源ユニットより供給を受ける）

■ラックマウントサイズ　EIA 2 U

■質量　3.9 kg

■仕上　ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）、（日塗工 DN − 65（2007 年）近似）

PA-U1V　ベンチレートパネル

■質量　200 g

■ラックマウントサイズ　EIA 1 U

■外形寸法　幅 482 mm ×高さ 44 mm × 奥行 15 mm

■仕上　ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）、（日塗工 DN − 65（2007 年）近似）

PS-RU40　ファンユニット（低騒音タイプ）

■電源　AC100 V、50 Hz/60 Hz（3 m 電源コード付）

■消費電力　28 W （50 Hz/60 Hz）

■最大風量　5.8 m^3 ／ min

■騒音　37 dB

■質量　1.6 kg

■外形寸法　幅 315 mm ×高さ 260 mm × 奥行 93 mm

■仕上　シャーシ　:SPCC 鋼板 t=1.6
ファン　:アルミ t=1.0

PS-R413B　ファンユニット

■電源　AC100 V、50 Hz/60 Hz（3 m 電源コード付）

■消費電力　15 W （50 Hz）
14 W （60 Hz）

■最大風量　2.6 m^3 ／ min

■騒音　42 dB （50 Hz）
46 dB （60 Hz）

■質量　540 g

■外形寸法　幅 119.5 mm ×高さ 119.5 mm × 奥行 38 mm

PA-R641　側開式ラックケース

■ユニット取付方法　1,826 mm（EIA 41 ユニット）

■ユニット取付最小間隔　44 mm

■質量　約 55 kg

■仕上　アイボリー焼付塗装（マンセル 7.5Y8.5 ／ 1 近似）（日塗工 D27 − 85B（2007 年）近似）

■外形寸法　幅 570 mm ×高さ 2,000 mm × 奥行 455 mm

PA-R631　ミニラックケース

■ユニット取付方法　1,335 mm（EIA 31 ユニット）

■ユニット取付最小間隔　44 mm

■質量　約 40 kg

■仕上　アイボリー焼付塗装（マンセル 7.5Y8.5 ／ 1 近似）（日塗工 D27 − 85B（2007 年）近似）

■外形寸法　幅 570 mm ×高さ 1,503 mm × 奥行 455 mm

PA-U113　ラックマウント金具

■適合機種　CD オートチェンジャー（XL-F502）

■ラックマウントサイズ　EIA 3 U

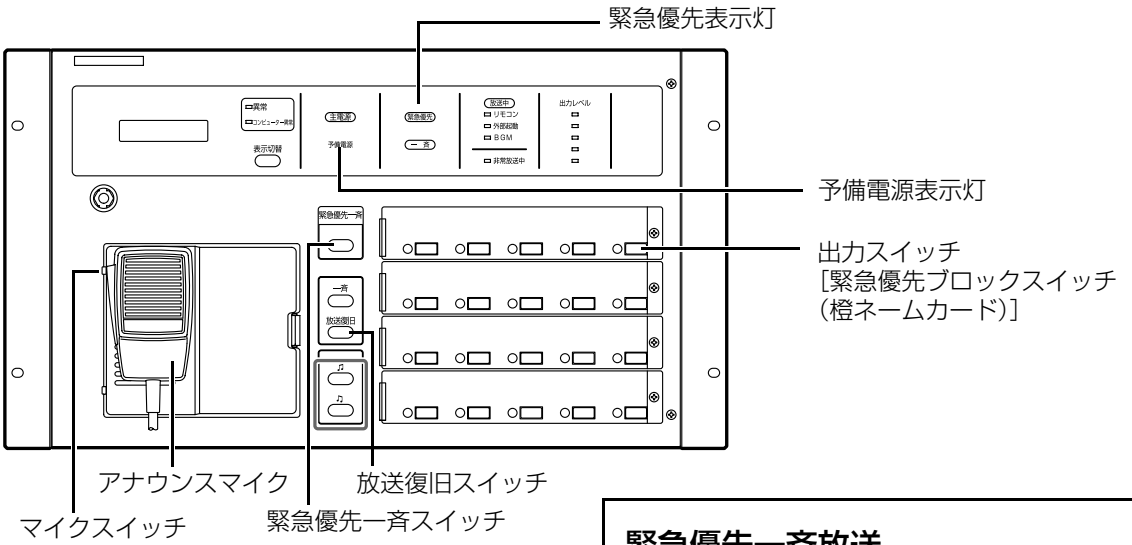
■質量　900 g

■仕上　ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）（日塗工 DN − 65（2007 年）近似）

簡易説明書

緊急優先放送のしかた

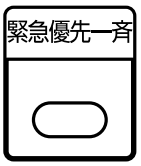
地震、事故などの緊急事態に最優先で放送することが可能です。



1．手動で全館に緊急優先放送を行いたい場合

緊急優先一斉放送

緊急優先一斉スイッチを押す。
緊急優先表示灯が点灯します。
作動表示灯は点灯しません。

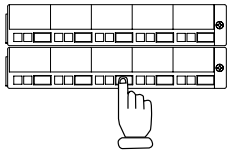


停電時であっても業務操作器（EM-D36）の予備電源表示灯が緑色に点灯している場合、このスイッチを押すことで放送することができます。

2．手動で放送場所を選んで緊急優先放送を行いたい場合

緊急優先ブロック放送

緊急優先ブロックスイッチ「橙ネームカード」を押す。
メッセージが登録されている場合は自動でメッセージ放送が始まります。
緊急優先表示灯が点灯します。



3．センサー、起動スイッチなどの外部機器が作動し、緊急優先放送を開始した場合

緊急優先起動放送

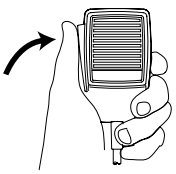
センサー、起動スイッチなどの外部機器が作動し、メッセージが放送されます。
緊急優先表示灯が点灯します。

●本ページは業務用放送設備　EM-D300 シリーズについて、緊急時の取り扱いについての概要を示したものです。
緊急時に確実な操作ができるように、本ページをコピーして放送設備の近くに掲示することをお勧めします。
●設定内容および機器の接続によって動作が変わります。事前に確認してください。
●操作の詳細やその他の取り扱いについては、取扱説明書の本文を参照してください。

状況に応じて以下の操作をします。

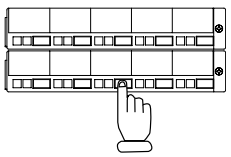
1. アナウンスマイクで放送する

アナウンスマイクのマイクスイッチを押しながら放送します。メッセージが再生中でもアナウンスマイクが優先で放送できます。



2. メッセージを放送する。

放送したいメッセージが登録されている緊急優先ブロックスイッチ「橙ネームカード」を押します。



放送を終了します。

- 緊急優先一斉放送、緊急優先ブロック放送時には放送復旧スイッチを押します。
- 緊急優先起動放送、停電起動放送では外部機器停止で放送終了になります。
- 停電時には停電状態に戻ります。

EM-D300 シリーズ
業務用放送設備

お客様ご相談センター

0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は
電話 (045)450-8950［代表］
FAX (045)450-2275
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話（042）660-7203

© 2008 Victor Company of Japan, Limited

LST0638-001A